

Campus Guide 2017

保護者のためのキャンパスガイド 2017年度版

教育後援会では、保護者の皆様にお子様が生徒生活をどのように過ごし、何を学んでいるのかを知っていただくため、「保護者のためのキャンパスガイド」を作成しています。この冊子はお子様の卒業まで保管してください。

 **OTEMON GAKUIN UNIVERSITY**
追手門学院大学教育後援会
<http://www.ogu-kyoikukoen.com>

内容は2016年12月現在のものです



追手門学院大学 保護者のためのキャンパスガイド 2017

Contents

●教育後援会		●学生生活	
はじめに・年間行事	2	学費納付	31
教育後援会の主な活動	11	学業支援システム	32
●追手門学院大学への入学にあたり		追手門学院大学学生表彰制度	33
学長挨拶	12	キャンパスマナーについて	33
追手門学院の歴史	13	自動車通学の禁止	34
●学修案内	14	アルバイト	34
●成長実感プログラム	19	ひとり暮らしのために	35
●キャリア形成支援プログラム	22	課外活動	36
●資格取得	24		
●インターンシップ	25	■学生生活に係る施設	
●国際交流	26	健康管理/保健室	38
		学生相談室	39
■学修に係る施設		食堂棟	40
キャリア・アクションコモンズ	28	購買サービスについて	41
教職支援センター	28		
図書館	29	●各課業務案内	42
教育開発センター	30	●アクセスマップ	45
		●キャンパスマップ	46

教育後援会

Parent's association

教育後援会の前身である大学PTAは、大学が創設された1966年（昭和41年）に始まります。学院創立80周年記念事業として大学設置が決定された当時、追手門学院の各学校、特に高等学校のPTA会員であった保護者の物心両面の協力があって大学の開学は成し遂げられました。

その保護者が中軸となり大学においてもPTAが組織されました。これが大学と保護者との強い連帯感を生み出し、本会独自の温かい血の通った活動の基調として、現在に引き継がれています。

2014年には大学、中・高等学校、大手前中・高等学校、小学校及び幼稚園のPTAで構成する教育振興会（追手門学院後援会組織）が設立されました。また、2016年には大学校友会、山桜会、大学卒業生保護者の会、小中高父母の会も賛助団体として参画され、後援各団体が連携して追手門学院を支援する体制が整いました。

学院との連携を強化し、追手門ファミリーの一員として一体的な繋がりを深め、より良い追手門学院大学教育後援会となるよう活動を続けています。



はじめに

このたびは、お子様のご入学誠にありがとうございます。ご入学に伴い、保護者の皆様は、追手門学院大学教育後援会の会員になられました。心から歓迎申し上げますとともに、お子様のキャンパスライフを充実させるため、教育後援会諸活動への積極的なご参加をお願いいたします。



教育後援会は、「学生が大学で有意義に過ごせるようにサポートすること」、「大学の教育・研究活動の充実に寄与すること」及び「会員相互の親睦を図ること」を目的として、さまざまな事業を行っておりますが、これらの諸事業が学生たちの成長を育み、輝かしい未来に向けた実りある大学での生活の一助となりますことを心から願っております。

2016年に追手門学院大学は創立50周年を迎えました。2015年には「地域創造学部」を新たに開設し、2016年度は経営、社会、心理の各学部につき経済学部も入学定員の増が認可されました。また、2017年4月1日には大学院心理学研究科に博士後期課程を開設し、国際教養学部では新しいカリキュラムがスタート、2019年4月には新キャンパス開学と、現状にとどまることなく教育・研究活動の充実、教育環境の整備に邁進されています。

本会も大学や教育振興会との連携を深めながら、より一層の発展に向けて活動していく所存でございますので、会員の皆さまのご理解とご支援を頂きますよう切にお願い申し上げます。

教育後援会会長 堀井 裕司

4月

記念品の贈呈（入学式）

会場の体育館に着席する新入生の姿には初々しさが感じられます。新入生全員に、本会から入学記念品を贈呈しています。



新会員歓迎会

入学式終了後、教育後援会の新会員となられた新入生保護者を対象とした「教育後援会 新会員歓迎会」を開催します。



桜の縁

お子様のご入学をお祝いするとともに、保護者の皆様とお会いできるご縁を記念し、「松籟庵」と「将軍山会館」で花見お茶席「桜の縁（さくらのえん）」を開催します。



入学記念品について

近年、交通系ICカードを持つ学生が増えています。ところが、入学式で配られる学生証と一緒にカードケースに入れて使用すると、エラーが起きます。

実は学生証もICカード。重ねて使用すると、カード間で干渉を起こしてエラーとなるのです。

教育後援会では、新入生のみなさんの学生証を保護し、ICカードのエラーを防ぐためにカードケースを入学記念品として贈呈しています。ぜひ、ご活用ください。



総会・保護者向け大学体験イベント（教育後援会 DAY）

※本ページで紹介している内容は2016年度の内容です。2017年度は変更となる場合があります。

総会の開催

総会は、全会員に本会の年間の指標を問う大切な会合であり、会員の皆様の後援会に対する意識の高揚の場でもあります。したがって、一人でも多くの会員の参加が望まれます。

総会の議事としては、事業報告、収支決算報告及び会計監査報告、新役員の承認、新年度の事業計画案、予算案などの重要事項の審議を行います。



教育後援会 DAY の開催

保護者のみなさまに学生の状況を知っていただくこと、また、学びや就職活動について協力を仰ぎ、大学と保護者が学生の成長を共に支える関係を築くことを目的として2012年から開催されています。大学との共催で、教育後援会総会、講演会や相談会、食堂等の無料体験などを企画しています。



2016年度は
下記の相談コーナーを設けました

- ★奨学金相談 ★海外留学相談
- ★教員免許・資格取得サポート相談
- ★就職相談 ★学生相談室

食堂無料体験

時間：11:30～12:30
場所：食堂棟1階

1階：「まいどおおきに食堂」の“追手門”店。
小鉢を2品選べる定食は、食生活が偏りがちな一人暮らしの学生の心強い味方に！



おうてどん
追手井
50食 限定販売!

村上ゼミの追手井 Project チームと大阪府中央卸売市場・まいどおおきに食堂とのコラボ商品で、魚・野菜をたっぷり用いたオリジナル丼です！

2014年度食育ヤングリーダーフォーラムにて「優秀賞」を受賞



保護者のための講演会（就職・キャリア支援課/学生相談室）

教育後援会は、就職・キャリア支援課、学生相談室の企画・協力のもとに保護者のための講演会を開催しています。

学生相談室企画

大学生となったわが子をどう見守り、どうサポートするかについて会員の皆様と一緒に考える機会になればと願い学生相談室の協力のもと、保護者のための講演会を開催しています。講演会終了後、保護者の方々を対象とした学生相談室カウンセラーとの相談会を設け、ご相談をお受けします。

就職・キャリア支援課企画

毎年2月と6月、保護者を対象に、就職をテーマにした講演会を開催し、その後、就職・進路に関する個人相談会を実施しています。

- | | |
|-----|-------------------|
| 第1部 | 保護者のための就職講演会 |
| 第2部 | 個人相談会（就職・進路個人相談会） |

3年生の保護者だけでなく、1～2年生の保護者の方も参加しています。



昨年の内容

時間：12:55～
場所：優駿ホール
テーマ：大学生のメンタルヘルス
 一家族に知ってほしいことー
講師：磯部 昌憲先生
 京都医療少年院 精神科医
 京都大学医学研究科精神医学教室 客員研究員
内容：「大学生」の生活は、高校までと比較して大きく多様化し、家族がその全貌を把握することはかなり難しくなります。家族がこころの問題に苦しんでいるかもしれないとき、どういところからそれに気づき、どう対応したらよいかについて、発達障害とこの年代に好発する精神疾患を中心にお話します。

時間：14:00～
場所：優駿ホール
テーマ：就職活動の現状と
 夏期インターンシップの位置づけ
講師：林田 雄太氏
 株式会社リクルートキャリア 大学支援推進部
内容：企業の採用活動が後ろ倒し（広報開始は3月、選考開始は6月）になったことを受け、インターンシップを実施する企業が大幅に増えています。現在の学生を取り巻く就職活動の状況はどう変化しているのか、実際の就職戦線ではどのようなことが起きているのかを踏まえた上で、企業がインターンシップを実施する目的・狙いを説明いたします。



記念品の贈呈（春学期末学位授与式）



春学期末卒業記念パーティー



学生奨学金への全額援助

教育後援会では、2004年度から「追手門学院大学教育後援会給付奨学金」制度、「追手門学院大学教育後援会修学援助給付奨学金」制度を開始し、春学期と秋学期に給付しています。2014年度の総会にて給付枠20名から30名への拡大が承認され、選考により春学期・秋学期を含め30名の学生に給付しました。



朝定食の費用一部援助

2016年4月6日から開始した朝定食（280円）を7月13日から教育後援会の支援により、**学生限定100円**で提供を開始しました。

場 所／おうてもん食堂（食堂棟1階）
 価 格／100円 学生限定（通常価格280円）
 ※教育後援会からの支援により学生限定100円を実施
 時 間／8:30～10:00（時間変更の場合あり）
 メニュー／ごはん、みそ汁、小鉢2品（複数種類から選択）
 期 間／春学期・秋学期授業期間の授業がある平日



見学懇親会

毎年秋に卒業生保護者の会との合同主催で、本会会員の知見を広め会員相互の親睦を図るために見学懇親会を開催しています。

初対面の会員同士が次第に打ち解けあい、和やかな雰囲気の中で楽しい1日を過ごします。

シルク・ドゥ・ソレイユ「トーテム」とザ・ガーデンオリエンタル大阪での昼食懇親会

スケジュール

2016年10月18日(火)



大阪【現地集合】



ザ・ガーデン
オリエンタル大阪
【懇親会】



水上バス【移動】



シルク・ドゥ・ソレイユ
「トーテム」
【鑑賞】

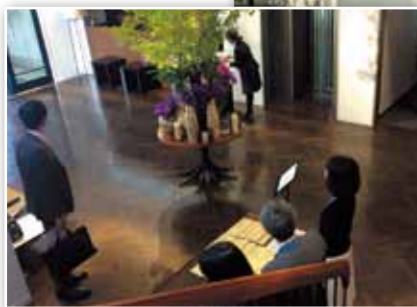


大阪
【現地解散】

見学懇親会印象記

10月18日(火)、見学懇親会当日を迎えました。前日から雨が降らないかと心配しましたが、一転晴天で汗ばむほどのお天気となりました。

今回は開催場所が大阪市内でしたので、バスで出かける例年とは異なり、直接昼食会場へ向かい集合となりました。昼食懇親会場の「ザ・ガーデンオリエンタル大阪」は緑が



目に優しい美しい建物でした。この建物は大阪株式取

引所や大阪能楽会館などの建築設計に携わった建築家・竹腰建造の作品で「大阪市公館」として建てられた迎賓館だったそうです。

緑の芝生に囲まれたレセプションホールでの会食は光があふれ、優雅な雰囲気の中で楽しい歓談が繰り広げられました。懇親会開催中、堀



井会長から追手門ファミリーが一丸となり、茨木市の東芝跡地に開学する新キャンパスを応援したいとの熱い決意が語られました。川原理事長からは新キャンパスのCG動画を見せていただき、新たな出発に大きく力を入れている思いと共に、私たち追手門学院教育後援会の会員をはじめ追手門学院を応援するすべての皆様に、この出発を支えてほしいとのお話がありました。川原理事長のお話を受け、堀井会長から新キャンパスに近いJR新駅に追手門の名前を入れる運動を皆さんと展開したいとの決意も語られました。

楽しい懇親会の最中に、この後観覧する「トーテム」のビデオ紹介がありました。これから観るトーテムへの期待感が更に膨らんでいきました。



トーテム会場へは水上バスを利用しての移動となりました。普段道路から川を眺めますが、逆に川から道路や建物を眺

めることができ、大阪のまちの違う美しさを知ることができました。川の水辺にはレストランなどが並び「ここは本当に大阪か、外国ではないか」と思うほどでした。改めて大阪が「水の都」であることを実感いたしました。水上バスが橋の下を通過するときには屋根が下がってくる仕掛けになっていて、30cm上下する屋根に船内は興奮状態でした。

いよいよ「トーテム」会場に到着。中央前方の良い席で、みなさん一緒に鑑賞することができました。サーカスといえば「木下サーカス」を思いだしますが、まったく違ったサーカスを見せていただきました。「進化」をテーマにしたストーリーのある展開。中でもキャラクターの方たちが、観客席まで何度も出てきてウロウロし、見ている者を飽きさせない工夫があり、大人も子供も楽しめる内容でした。

懇親会の際に見た「トーテム」のDVDで、ポスターに登場されている「カエル」役の方が日本人と紹介されていて、皆さんと「どのカエルが宮さん？」と会話しながら鑑賞することもでき、楽しいひと時でした。

日常を忘れ、サーカスの世界観の中で気持ちもリフレッシュできました。追手門ファミリーが一体となって皆さんとの絆を確かめ合う年に一度の素敵なイベントです。来年の再会を約束して帰途につきました。



将軍山祭

第50回
将軍山祭

50ing

教育後援会は将軍山祭を支援しています。



2016年は11月5日(土)、6日(日)に開催されました。



3月

記念品の贈呈 (秋学期末学位授与式)

学生生活最後の思い出を飾る学部学位授与式・大学院学位授与式が挙行政され、スーツ姿の男子学生や、あでやかな振袖・袴姿の女子学生で会場は華やかな雰囲気に包まれます。卒業生全員に、本会から卒業記念品を贈呈しています。



卒業記念パーティー

学位授与式終了後、大学と本会主催で、来賓・教職員・卒業生が一堂に会し、卒業生の前途を祝い、卒業記念パーティーを開催しています。

集い合った卒業生は、学友たちとの語らいの中に大学生活最後の思い出の1ページをつづり、社会に向けて巣立っていきます。



おうてもん塾

— 追手門学院大学社会人教室 —

受講料
無料



おうてもん塾は、本会会員相互の親睦を図ること、また、会員の教養を高める事を目的として本会が後援しています。

毎年4月と9月に教育後援会が発送している「会報」や「見学懇親会のご案内」の封筒に、「おうてもん塾」のご案内・参加申込が同封されています。なお、定員となり次第お申込を締切らせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

※本ページの内容は2016年度に行われた講座の内容です。2017年の内容は変更となります。

教育後援会の主な活動

奨学金の給付

教育後援会の独自の奨学金制度として、修学の熱意があるにも関わらず経済的理由により修学困難な学生への援助を目的とした「追手門学院大学教育後援会給付奨学金」及び学資負担者の死亡による家計急変のため修学困難となった学生への援助を目的とした「追手門学院大学教育後援会修学援助給付奨学金」を運営しています。

2014年度の総会にて給付枠20名から30名への拡大が承認され、選考により春学期・秋学期を併せて30名の学生に奨学金を給付いたしました。

基礎学力測定試験の受験料全学援助

2015年度より、1年生を対象に実施する基礎学力測定試験の受験料を全学援助しています。

就職模擬試験の受験料援助

就職活動の支援として、就職模擬試験を受験する学生に対して、受験料を援助しています。

課外活動への援助

学生の課外活動に対して、対外試合などに出場する費用等の一部を援助しています。

国際交流活動への援助

各種海外セミナーに参加する学生に対して、海外渡航のリスク管理講演会、交換派遣学生への事前研修としての語学力アップ講座、海外からの交換学生の地域交流活動にかかる費用を一部援助しています。

朝定食の費用一部援助

2016年度からの新規事業。食堂で販売される朝定食の費用を一部援助しています。

入学・卒業記念品の贈呈

入学式にはこれからの学生生活に役立つもの、卒業式には社会人になって使う機会が増えると思われるものを選び贈呈しています。

卒業記念パーティーの開催

春学期末および秋学期末学位授与式終了後、大学との共催で卒業記念パーティーを開催しています。

見学懇親会の開催

会員の見聞を広め、会員相互の親睦を図るため、日帰りのバス旅行を行っています。

広報活動

大学と会員との情報交換のために、機関誌として、年2回「教育後援会会報」の発行、また、ホームページの更新を行っています。

本会の活動や、大学での諸行事、教育や就職支援状況などを広く掲載し、お子様が学ばれている大学をよりよく知っていただけるよう心がけています。

保護者のためのキャンパスガイドの発行

新入生保護者の方々に教育後援会をはじめ大学について知っていただくために「保護者のためのキャンパスガイド」を発行しています。

本冊子に記載された内容は1年間有効としていますが、施設情報等はお子様が学生生活を送る中で随時変更・更新いたします。最新の内容については、学校のホームページまたは教育後援会ホームページで随時ご確認ください。



保護者のためのオリエンテーション

大学との共催で、大学をよりよく知っていただくために保護者の方を対象としたオリエンテーションを開催しています。

公開セミナーの開催

2005年度から会員の教養を高めるため本会会員、一般社会人を対象に、特別公開講座「おうてもん塾」を開講しています。

その他

実行委員会・会員総会・新会員歓迎会を開催しています。保護者のための就職講演会(就職・キャリア支援課)、桜の縁(卒業生保護者の会)等を支援・共催しています。
* P.2の桜並木は、2005年に教育後援会から寄付したものです。公募により「さくら径」と名付けられました。

会費の徴収について

教育後援会の会費につきましては、教育振興会費として年額1万円を大学より代理徴収していただいています。

卒業生 保護者の会

卒業生保護者の会は、お子様が在学中に教育後援会の会員であった保護者により組織されています。本会の目的は、美術館や舞台公演等の鑑賞会を行うなど、会員相互の旧交を温め親睦を深めるとともに、相協力して卒業生の福祉増進と大学教育事業の充実並びに追手門学院内の各校・園の卒業生父母の会と提携して、学院の発展に寄与する

ことにあります。1970年の創設後、会員数は年々増加し、2016年度には、2万人を超えました。入会費は、10,000円で終身会員となります。4年次の秋学期授業料納付時に大学より代理徴収していただくことになっておりますので、ご協力の程よろしく願っています。

教育後援会ホームページでは、「教育後援会の活動」、「大学の現在の動き」、「学生生活に関する情報のリンク」を会員のみならず、より見やすく、より快適に利用できるようなホームページを目指して更新しています。

教育後援会

ホームページ

<http://www.ogu-kyoikukoen.com>

また近年のスマートデバイスの普及に伴い、全ページでスマートフォン・タブレット端末に対応しました。内容の充実を図るとともに、よりタイムリーに情報を発信してまいりますので是非ご覧ください。

教育後援会ホームページにはアドレスを入力していただくか、「Yahoo!」等の検索サイトで「追手門学院大学教育後援会」と入力し検索してください。



追手門学院大学への入学にあたり

Greeting for entrance to university

学長挨拶

学生時代にぜひ親離れ子離れを

お子さまのご入学を心からお祝い申し上げます。追手門学院大学が、「独立自彊 社会有為」を教育理念に掲げて、美しい景観を誇る北摂の地に、創設されたのは1966年です。学院の教育理念を平たく言えば、将来、社会で活躍できる人間たるために、学生時代に自己鍛錬に励もう、ということです。

学生時代、10代の終わりから20代前半にかけては、それぞれの人生でいちばん重要な時期です。この時期をどのような思いをもって過ごすか、その過ごし方が将来の人生を決定すると言っても過言ではありません。ぼんやりと無為に、為すこと無く過ごしてはいけません。勿論、ときには、ぼんやりと心を緩めないと身も心も持ちませんが、現在を力強く、逞しく、真剣に生きていただきたいと願っています。

力強く真剣に現在を生きるとは、何事も受身の姿勢で過ごさないということです。

この学生時代に、自分が将来こういう人間になりたいと強く願ひ、そのために力を尽くしたことだけが、その願ひが成就できたか否かに関わらず、その後の自分の生き方の中核の部分として残ります。真剣に自主的に取り組んだことだけが残ります。

勿論、願ひは叶わぬことも多いけれども、強く願った思い、そして、精一杯そのために力を尽くしたことは、よしんば、そのときにすぐに実らなくても、地下茎となり、いつの日にか芽を吹き、枝葉を伸ばして、蕾を膨らませて花を咲かせる。学生時代に画いていた花とは必ずしも同じ花ではないかもしれませんが、花を咲かせます。

自分で考え、苦しみながらも励んだことだけが、それが勉強であってもクラブ活動であっても、その人の精神の重要な中核を形成するということです。

経産省は、社会人として世に出る前に、学生時代にあらかじめ備えておきたい基礎的な能力の一つとして「傾聴力」を挙げています。傾聴力というのは耳を傾けて人の話にしっかり聴き入ることのできる能力ですが、ふんふんと聞き流しているだけではだめです。その人の話から、「なぜだろう」という興味や疑問も持つことです。

若いときの成長や変貌は非常に早い。そうした実例を幾つも目にしてきました。「三日も会わなかったら、次にその人と会うときには目を瞠って会いなさい、見違えるように変貌を遂げているから」という意味の言葉が古い中国にあります。さすがに三日間で大きく変貌を遂げた学生には会ったことはありませんが、一年でめざましく成長した、という実例ならたくさん知っています。

そうした目覚ましい成長や変貌は、心構えひとつにかかっています。

自分の未来を拓く鍵。自分の可能性を開拓する、その手がかりをつかむ鍵は、現在の自分の足元や周辺にしかありません。

あたかも大学に入った段階で、エリートと非エリートが決まっている、その後の人生も決まっている、と安心するのも、あきらめるのも、まちがっています。新入生の皆さんには、入学のこの機に、このことをしっかりと心に刻んでおいていただきたいものと願っています。

高校時代までが秀才であったか否かは問題ではありません。秀才であったと自惚れて努力を怠るようだとむしろマイナスです。大学時代にしっかりと人間形成に励み、学ぼうとする意欲を持つことができれば、必ず、将来の人生が明るく開けます。過去の自分にこだわって、あるいは、過去にすがって生きるのではなく、現在を、未来に向かって、力強く、生きていただきたいものです。

獅子は最愛のわが子を千尋の谷底に突き落とす、無事で、逞しく、元気に、這い上がってくることを切に祈りながら、という話があります。

なぜそんな理不尽なことをするのか。厳しい試練に耐えなければ、強く生き続けること、成長することができないからです。

雨の日だからといって、いつまでも親に傘を差しかけてもらえるわけではない。親離れ子離れも、この4年間にぜひ果たしていただきたいと思えます。親から自立し、親は子どもを突き放す。そのことは本学の建学の精神である家族を大切にすることと決して矛盾するものではありません。

生涯にもわたる、素晴らしい先生方や友人との出会いが待ち受けています。

4年後には、実り多き学生生活であったと、満足して、社会に巣立ってゆかれることを期待しています。

追手門学院の歴史

1888（明治21）年 大阪借行社附属小学校の誕生

追手門学院の前身は、大阪借行社附属小学校である。大阪借行社附属小学校は、1888（明治21）年、薩摩藩出身の陸軍軍人であり、後に陸軍大臣となった高島鞆之助が「国家有為の人材育成」を目標に創設した。

高島鞆之助は、幼少期、薩摩藩独特の「郷中教育」という教育システムで育った。これは、地域ごとに集団を作り、年長者が年少者の指導をするというものである。この郷中教育の基本目標～身体を鍛え、思考力・判断力を養い、礼儀を学ぶ～は、本学の教育に大きな影響を及ぼしている。またドイツ・フランスへの出張経験から、国際教育を重視し、創設当初より英語授業を実施したことは、明治期の小学校としては特筆される。

創立記念日の由来

高島鞆之助は、1872（明治5）年から2年間、明治天皇の侍従を務めた。その関係から、米田侍従が大阪借行社附属小学校に来校された。帰京後、明治天皇に授業の様態や生徒の学習ぶりなどを報告されたところ、明治天皇はとてもお喜びになり、4月29日に再び米田侍従を差遣され、「猶ホ一層精勵ソノ實ヲ挙グベシ（なお一層励むように）」との「聖旨」を伝達された。

聖旨奉戴を記念して、4月29日を創立記念日と定めた。昭和に入り、この日が天皇誕生日と重なるので、一か月遅らせて5月29日を創立記念日とし、現在に至っている。

終戦後に訪れた学校存続の危機

終戦直後、GHQの指導により、陸軍の親睦団体であった大阪借行社は解散を命ぜられ、学校は経営の主体を失った。学校だけは残したいという教職員、卒業生や保護者の強い思いから、1946（昭和21）年、保護者を中心とした財団法人錦城育英会の運営による大阪借行学園として再スタートを図った。

しかし、錦城育英会も解散団体である借行社の継承団体だとされ、解散を命じられた。同年

就任した八東周吉学園長を中心に学校存続の運動が続けられ、翌年、財団法人大手前学園として設立認可を受けることが出来た。

中学校・高等学校創設

1947（昭和22）年、大手前学園中学部が創設された。生徒数は約100名、2クラスでのスタートであった。しかし校舎はなく、小学部の校舎を借りて授業を行なった。教科書もなく、ガリ版の教科書を教師が手作りし、八東学園長自ら新憲法講義を行なった。

11月には、大手前学園から追手門学院に改称した。「追手門」とは、城の正門という意味である。

1950（昭和25）年には、中学部1期の卒業生を受け入れるため、追手門学院高等学部を創設した。

大学開学・幼稚園開園

学院創立80周年記念事業として、大学開学、幼稚園開園が計画された。東京オリンピック開催で日本中が沸いた1964（昭和39）年、教育心理学者で大阪大学文学部長であった天野利武を学院長に招聘した。天野は大学での研究者としてだけでなく、戦後の混乱期に京都府の教育長を務めるなど、教育行政での経験が豊富であった。

天野を中心とした多くの教職員の努力が実り、1966（昭和41）年追手門学院大学が開学された。お洒落な制服も当時の話題となり、入学式の様子は週刊誌にも取り上げられた。

1969（昭和44）年、総合学園としての教育機関を目指すうえで不可欠とされた幼稚園が、千里ニュータウンの文教地区に開園した。

天野学院長は、高島鞆之助による大阪借行社附属小学校の創設を研究し、また、片桐校長時代の教育理念を再定義して、20世紀にふさわしいものとした。「社会の各方面で重要な役割を果たしながら、日本の社会と文化の発展に大いに貢献しようとするような指導的人材を育成することを目指す」というものである。

2学部4学科517名でスタートした大学は、現在6学部8学科、約6,400名の学生数となり、2016（平成28）年に開学50周年を迎えた。

学修案内

Campus study guide

大学の学修がわかりにくく思われるのは、学部・学科ごとに修得すべき専門の科目が異なることや、履修すべき授業科目の選択状況が各自で異なるためです。ここでは、修学の全般的なことについて、できるだけ簡潔に説明します。

2017年度 学年暦

※行事によっては、日程が変更される場合があります。

4	入学式 新入生オリエンテーション 履修登録 春学期授業開始 2017年度定期健康診断 (新1～4、大学院生) 奨学金申込説明会 安全運転講習会 薬物講習会 海外セミナー イギリス・リージェンツ大学 ロンドンコース募集	9	履修登録 秋学期授業開始 春学期末学位授与式 オーストラリア海外ボランティア体験プログラム募集 短期海外セミナー 台湾・静宜大学コース募集 安全運転講習会
5	短期海外セミナー 韓国・建国大学コース募集 体育会フレッシュマンキャンプ 学院創立記念日	10	次年度交換留学生(派遣)募集開始
6	文化会フレッシュマンキャンプ 悪質商法等の犯罪被害防止教室	11	大学祭
7	春学期授業終了 春学期補講 春学期末試験	12	次年度中国語現地演習および アジアフィールドワーク参加学生募集 冬期休業開始
8	春学期末試験 夏期休業開始 救急法救急員養成講習会	1	秋学期授業終了 秋学期補講 秋学期末試験
		2	学位授与式 2018年度在学生オリエンテーション 2018年度定期健康診断(新2～4年生)
		3	

各学部共通のことから

■学修の流れ

学年は4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わります。学年を春学期と秋学期の2学期に分けています。

3月末から4月初めにかけて、各学部、学生部でオリエンテーションを行い、新入生でも不安を抱くことなく大学生活が送れるよう指導します。各自が自主的に学修計画を立てて、所定の履修登録を行い、当該年度の履修科目を決定することになります。そして、学修の成果を確認するため試験が行われ、評価が出されます。なお、行事予定表がUNIVERSAL PASSPORTに掲載されていますので、参照するようご指導ください。

■オリエンテーション・履修相談

卒業に必要で、必ず修得しなければならない必修科目やそれ以外でも修得しなければならない科目の授業内容の説明、卒業に必要な科目、単位数、履修登録の方法など、学修が円滑に進行するように指導します。毎年3月末から、授業が始まる前までの間に実施しますが、学部、学科、学年によって日時や場所が異なります。入学後、各学部の掲示板を必ず確認するようご指導ください。オリエンテーションでは『STUDY GUIDE』など、授業開始に際して必要な資料の配付も行います。

* UNIVERSAL PASSPORT とは

UNIVERSAL PASSPORT (ユニバーサルパスポート、通称:UNIP^{ユニバ}PA) は、学生がインターネットを通じて、履修登録を行ったり、休講情報などの学内情報の検索ができるWEBシステムです。

※ UNIVERSAL PASSPORT の主な機能とそれぞれに関する問い合わせ先は『STUDY GUIDE』をご覧ください。使用方法等の詳細については、「UNIVERSAL PASSPORT 利用ガイド」を参照してください。



※この画像はイメージ(2014年度版のもの)です。2017年度は変更となる可能性もあります。

『STUDY GUIDE』(スタディ・ガイド)

『STUDY GUIDE』は、入学式の後、その他の資料と一緒に配付されます。この冊子には、次のような事項について、重要な情報が記載されています。

- 1 教育理念、ポリシー
- 2 学位や単位について
- 3 授業時間や休講、補講について
- 4 休学、退学、除籍、欠席など事務手続きについて
- 5 卒業要件について
- 6 開講科目について
- 7 履修登録について
- 8 試験・成績について
- 9 大学院について
- 10 教職等資格取得について
- 11 各種規程

『STUDY GUIDE』は、入学時にしか配付しませんので、入学から大学を卒業するまで、ずっと使用することになります。いつでも確認できるよう、大切に保管するようご指導ください。特に、履修や試験・成績、卒業するために必要な条件、自分の所属する学部学科の開講科目については、必ず確認しておくことが重要です。

『STUDY GUIDE』は、大学ホームページでも公開しています。また、入学後、『STUDY GUIDE』に記載された内容について変更があった場合には、掲示板やUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

■履修登録

履修登録手続き

学生は春学期始めと秋学期始めに、各自の学修計画に基づき、その学期に履修しようとする科目を選択し、指定された期限までに、学内に設置されたパソコンまたは自宅のパソコンで、履修登録を行わなければなりません。もし、この履修登録を怠ると、授業に出席することや試験を受けることができません。したがって、この手続きは学期の初めの最も重要な手続きであり、必ず指定された期日・時間を厳守のうえ、登録することが必要です。

履修登録科目の確認

履修登録を行う際は、必ず、履修登録内容が正しく確定されたかどうかの確認を行い、万一間違いがあった場合は、履修登録期間中に修正を行う必要があります。履修登録期間外に申し出ても、修正・変更は一切認められません。

履修科目を決める際の注意事項

履修科目を決める際には、各年次や学期で履修しなければならない必修科目の登録もれがないかどうか、クラス指定をされた科目は指定どおり間違いなく選択しているか、最終学年では卒業に必要な単位が修得できているかどうかなどがチェックポイントになります。

■単位

単位とは、その科目の学修に要する時間や内容を表わすものさしであり、大学では、このものさしによって勉学の達成度が計られ、4年以上在学して、所定の単位数を修得したかどうかで卒業の可否が決定されます。

一つひとつの科目には、授業時間数から割り出された単位数が定められており、また、この単位の中には、学生が自主的に行う一定の自習時間も含まれています。この科目の授業を受け、試験に合格することによって、その科目についての単位が与えられることになります。

オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が各自の担当する授業時間以外の指定した時間に、学生から修学や身上の悩みなどの相談を受けるために設けられたものです。オフィスアワーの時間及び場所については、パソコンのポータルサイトである UNIVERSAL PASSPORT に掲載されています。

■『STUDY GUIDE』『シラバス』『規則集』

『STUDY GUIDE』は、修学の手引きともいえるもので、各学部規程をはじめとする修学に関する事項を記載しています(前頁を参照ください)。

修学に関する基本的事項は学則で、詳細な事項は学部規程ならびに学科履修細則で規定され、入学から卒業までの学修活動にとって必要不可欠な事項を記載しており、学生は習熟しておく必要があります。また、『シラバス』は、その年度に開講する各科目の講義内容について、担当教員が簡潔に説明したもので、学生は科目の履修選択に当たって、よく確認しておくことが肝要です。

『STUDY GUIDE』『シラバス』『規則集』は、ホームページ上に掲載しており、パソコンで手軽に見ることができます。

■授業

授業は、月曜日から金曜日まで5時限で行われています。土曜日は補講が行われる場合があります。

大学では、学生本人が学修目標を立てて、それに基づいて授業科目を選択し、履修しているため、各人によって履修科目が異なります。例えば、月曜日の1時限にA君は「入門コンピュータ1」を、B君は「法学入門」を選択する場合、あるいは月曜日の午後の授業科目を選択しない場合は、月曜日の午後は授業がありません。また春学期の月曜日に授業を受けていても、秋学期の月曜日に授業を受けないこともあります。したがって、春学期も秋学期も月曜日から金曜日まで授業は行われていますが、各自の履修状況により授業を受けない時間もあります。

■試験

試験には、定期試験、随時試験、追試験があります。

試験の受験に際しては学生証を所持しない学生は受験できません。学生は学生証を常に携帯する必要があります(「追手門学院大学キャンパスマナーに関する指針」参照)。試験は静粛・厳正な態度をもって臨むことが必要です。もし、不正行為があると認められた場合は、学則及び規定により厳重に処分されます。

定期試験や随時試験のかわりに、レポートの提出を求めることもあります。

定期試験は、春学期末と秋学期末の年2回実施します。また、病気などの理由で定期試験を欠席した者に対しては、**追試験**を実施します。定められた期日までに所定の手続きをすれば、受験することができます。ただし、証明書(当該試験日に病気などで加療や静養が必要であったことを証明できる診断書など公的なもの)の提出が必要です。**随時試験**は、授業時間中に実施される試験をいいます。

■成績評価

授業に出席し、試験を受けると評価が与えられます。ただし、授業日数の3分の2以上出席しなければ評価の対象になりません。

一度合格の認定がなされた場合は、取り消す

ことはできません。「D」又は「E」となった場合は、再び履修して評価を得ることができます。

■成績発表

評価の基準

評価	合格				不合格	
	S	A	B	C	D	E
評点	100~90	89~80	79~70	69~60	59~0	試験欠席等
GP	4	3	2	1	0	

成績については、春学期は8月下旬、秋学期は2月下旬に、合格・不合格にかかわらず、当該学期履修登録手続きをしている科目のすべてについて、成績(評価)及びGPAの値をUNIVERSAL PASSPORT上にて発表します。

なお、学生本人は過去に修得した科目すべて(通算のGPAを含む)を、UNIVERSAL PASSPORT上で確認できます。

保護者の方には、10月と4月に、各学期末までの修得した科目すべてを記載した成績通知書(通算のGPAを含む)を郵送いたします。[個人情報保護法の施行を受けて、入学手続時において、第三者(保護者も学生から見ると第三者にあたります。)への情報の提供に学生本人が同意した場合のみ。]

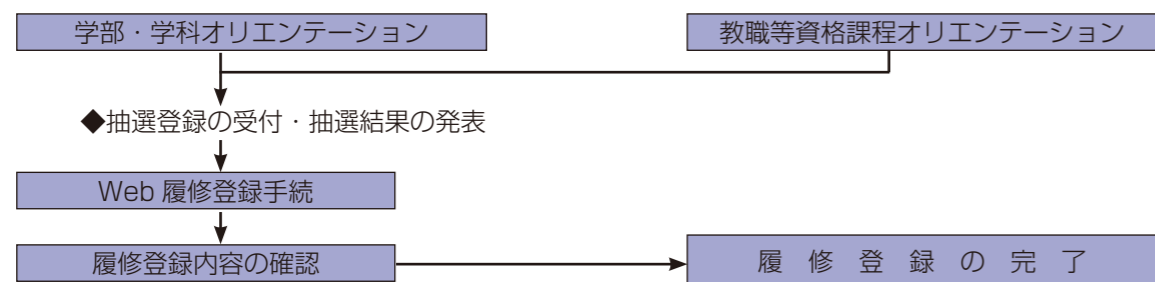
* GPA とは

グレード・ポイント・アベレージ(Grade Point Average)の略で、成績評価方法の1つです。授業科目ごとの成績を5段階<S, A, B, C, D>で評価して、それぞれに対して、4・3・2・1・0のグレードポイント(GP)を付与して、算出した、1単位あたりの平均値のことです。GPAは次のようにして算出されます。

$$GPA = \frac{(\text{履修単位数} \times GP) \text{の合計}}{\text{履修単位数の合計}}$$

*一部 GPA に算入されない科目があります。(資格科目、認定科目など) 詳細は『STUDY GUIDE』に記載しています。

〈履修登録の流れ〉



成長実感プログラム

■卒業

大学に4年間在学し、定められた単位数を修得して卒業の要件を満たせば、各学部教授会の認定を経て、卒業となります。

卒業生には、次の学位を授与します。

- 経済学科…………… 学士（経済学）
- 経営学科…………… 学士（経営学）
- マーケティング学科…………… 学士（経営学）
- 地域創造学科…………… 学士（地域創造学）
- 社会学科…………… 学士（社会学）
- 心理学科…………… 学士（心理学）
- 国際教養学科…………… 学士（国際教養学）
- 国際日本学科…………… 学士（国際教養学）

■留年

4年間修学して、卒業に必要な要件を満たせない場合、卒業延期、いわゆる「留年」ということとなります。

進級は、科目の修得とは関係なく順次行われます。しかし、1・2年次に修得すべき科目数が判定基準以下であると、3年次で修得する必要のある科目が履修できません。また、3年次に修得すべき科目が修得できないと、4年次で修得する必要のある科目が履修できない場合があります。そこで学年は4年次であっても、実質1年次であったり、2年次であったりします。なお、在学年限8年を超える学生は、学則により除籍されます。

2015年度卒業状況

学部	学科	入学年度	在籍者(人)	卒業者(人)	卒業率(%)	卒業不可者(人)	留年率(%)
経済	経済	'12	206	172	83.5	34	16.5
		'11以前	46	22 (5)	47.8	24	52.2
		計	252	194 (5)	77.0	58	23.0
	ヒューマンエコノミー	'12	135	119	88.1	16	11.9
		'11以前	27	23 (8)	85.2	4	14.8
		計	162	142 (8)	87.7	20	12.3
計		414	336 (13)	81.2	78	18.8	
経営	経営	'12	206	187	90.8	19	9.2
		'11以前	33	16 (12)	48.5	17	51.5
		計	239	203 (12)	84.9	36	15.1
	マーケティング	'12	210	185	88.1	25	11.9
		'11以前	26	12 (4)	46.2	14	53.8
		計	236	197 (4)	83.5	39	16.5
計		475	400 (16)	84.2	75	15.8	
社会	社会	'12	169	150	88.8	19	11.2
		'11以前	19	11 (7)	57.9	8	42.1
	計	188	161 (7)	85.6	27	14.4	
心理	心理	'12	222	194	87.4	28	12.6
		'11以前	22	15 (6)	68.2	7	31.8
	計	244	209 (6)	85.7	35	14.3	
国際教養	アジア	'12	85	71	83.5	14	16.5
		'11以前	22	10 (8)	45.5	12	54.5
		計	107	81 (8)	75.7	26	24.3
	英語コミュニケーション	'12	116	97	83.6	19	16.4
		'11以前	31	19 (7)	61.3	12	38.7
		計	147	116 (7)	78.9	31	21.1
計		254	197 (15)	77.6	57	22.4	
合計		1,575	1,303 (57)	82.7	272	17.3	

注1：()内数字は2015年9月卒業生で、内数を表す。
 注2：卒業率は、小数点以下第2位を四捨五入した数を表す。
 注3：ヒューマンエコノミー学科は2015年度から学生募集停止。
 注4：地域創造学部地域創造学科は2015年度開設のため卒業生はいない。
 注5：英語コミュニケーション学科は2016年度から国際教養学科に名称変更した。
 注6：アジア学科は2017年度から国際日本学科に名称変更した。

希望する仕事、生き方へ。あなたを導くプログラム。

追手門学院大学では、将来の目標にあわせて専門的に学べる、全学部生対象のキャリアコース、キャリアプログラムを設置。早くから自分の将来をイメージし、着実にその夢を実現できるようサポートします。

追手門学院大学 リーダー養成コース

多様なリーダーシップを実践する。

リーダーシップを効果的に発揮するために必要な知識・技能・態度を養成します。本学の教育理念である「独立自強・社会有為」を実践できる人材を育成するために、教員・職員・学生（先輩と後輩）チームによる学習共同体で学びます。サバイバル型のプログラムや、他大学および他国の学生との交流を取り入れたプログラムを実施します。

定員 40名 対象 全学部対象



学びの流れ

追手門学院大学リーダー養成コースでは、基礎理論を実践へつなぐ、体系的なプログラムを構築しています。追手門学院大学リーダーズ・スクール・ゼミナールを必修とし、その学びを国内外で実践するために、学生リーダーズ・サマースクールをはじめリーダーシップ・チャレンジⅠ・Ⅱ・Ⅲのプログラムを準備しています。経験を通じて「独立自強・社会有為」を実践できるリーダーを養成します。

OLS

追手門学院大学
リーダーズ・
スクール・
ゼミナール

学生リーダーズ・サマースクール

リーダーシップ・チャレンジⅠ・Ⅱ

リーダーシップ・チャレンジⅢ

自分の役割を認識しながら、変化する状況に対応できるリーダーシップを実践的な方法で身につけるサバイバル型のプログラム

研修先(韓国・サイパンなど)で、他大学の学生と切磋琢磨しながら、現地学生への講義や現地小学生への教育実習を行い、状況・役割に応じたリーダーシップを発揮する力を養う。→UNGL(西日本学生リーダーズ・スクール)と連携

文化や価値観の異なるアジア太平洋地域の国々の学生と多国籍交流を図りながら、グローバルな環境で求められるコミュニケーション能力やリーダーシップを養う。→APSSA(アジア太平洋学生支援協会)などと連携

2年次春学期START!

男女共同参画 キャリア形成プログラム

自分らしく一歩踏み出す力をつける。

男女の別なく、自分らしく活躍する社会の実現のために、多様な働き方・生き方のロールモデルと出会い、仕事と私生活をマネジメントする力を身につける通年開講のオープンゼミです。働く人々へのインタビュー、仕事をめぐる社会課題の調査研究、さまざまな働き方の情報収集などを通じて、働くことの意味と現状、これからの可能性を学び、納得度の高い職業選択やライフスタイルの実現を目指します。

定員 20名 対象 全学部の2年次生(3年次生も可)



プログラムのポイント

- point 1 社会の変化を的確に捉え、就職活動で折れない力をつける。
- point 2 ヒアリングや企業訪問など、社会と接する機会が豊富!
- point 3 グループワークなど、参加型のアクティブ・ラーニングで主体性を育む!
- point 4 1年間のプログラム終了後も一緒に学び続ける仲間を作る!

学びの流れ

変化する社会に目を向け、多様な選択肢の中から自らの生き方、働き方を選び取るためのプログラムを用意しています。働く人々や企業へのインタビュー、働くことを巡る調査、課題解決型プログラムへの参加、仕事と家庭の両立のための講座など、就活が始まる前に、社会に一歩踏み出す、確かな力を培います。

2年次
(または3年次)

- オープンゼミとして通年開講でしっかり学ぶ
- 学内・学外の現場で、多様な経験を積む
- 男女共同参画社会を生きるために必要な力をつける

3年次

- 具体的な職業選択の情報収集サポート
- インターンシップや企業研究から働くイメージを持つ

4年次

- 就職活動～内定獲得
- 後輩へのアドバイス、学生主体の勉強会・情報交換会

成長実感プログラム

1年次秋学期START!

スポーツキャリアコース

スポーツの経験・知識を活かしたい。

スポーツを通じて社会とかかわり、スポーツの魅力を広めていけるよう、理論や実践を含めて総合的にスポーツを学びます。トップレベルで活躍した経験を持つ講師陣の直接指導や、トップチーム等での研修など充実のカリキュラム。本コースでの学びを、自身の競技活動や学部での学びにリンクさせることで、未来の可能性が大きく広がります。

定員 60名 対象 体育会クラブ所属学生(マネージャー含む)など(全学部対象)



■ スポーツキャリアコースのポイント

- POINT 1** 理論×実践を自身の競技活動やキャリアにつなげる学び
- POINT 2** 学部を問わず所属でき学部の専門性+αを身につけられる
- POINT 3** トップレベルで活躍した経験を持つ講師陣が直接指導
- POINT 4** トップチームなどの試合・練習現場に触れるスポーツフィールド実習

スポーツキャリアコースの概要

体育会クラブ所属学生(マネージャー含む)および学外のスポーツ活動で高い評価を受けている学生を対象とし、1年生の秋学期より学修がスタートします。

募集定員は、1学年60名を目処とします。

2年生春期休業期間中に国内研修を、4年生秋学期に海外研修を実施する予定です。国内外の研修とも、トップチームやトップ選手などの試合・練習風景に間近でかかわる環境を提供することを考えています。海外研修は、3年生までの学業成績等を参考に選抜する予定です。

卒業要件およびコースの修了要件を充足した者には、スポーツキャリアコースの「修了書」を授与します。

スポーツキャリアコース生に選抜されたものは、所属クラブを退部することなく(学外でス

スポーツを通じて社会で活躍できる人材を育成します。

スポーツキャリアコースでは、スポーツを通じて社会とかかわり、スポーツの魅力を広めていける人材の育成を目指しています。多彩な科目や実習を通じて理論と実践をバランス良く学ぶことで、礼儀や実行力、マネジメント力、リーダーシップなどが身につくため、卒業後はスポーツ業界はもちろん、それ以外の幅広い業界や地域社会でも活躍することが期待できます。

■ スポーツ業界の仕事(一例)

- スポーツチームスタッフ
- スポーツインストラクター
- スポーツメーカー
- スポーツショップ
- スポーツ施設運営
- スポーツメディア など

スポーツ活動を実施している者は、活動を辞めないよう)、スポーツキャリアコースの修了を目指して頑張ってください。

スポーツキャリアコース生への支援

コース生が、在学期間中に外部機関で公認スポーツ指導者等の認定を受けた場合は、受講料・検定料の補助等の支援を行います。

スポーツキャリアコース生の募集

春学期にスポーツキャリアコースの募集についてご案内しますので、希望者は必ず説明会等にご参加ください。

4年間の流れ

1・2年次はスポーツの実践理論、3・4年次はキャリアを意識したプログラム。トップチームやプレイヤーともかかわることができる国内研修を2年次の春休みに実施予定。4年次の秋学期には、海外の大学のクラブなどの視察・交流を行う海外研修を予定しています。

■ 4年間の流れとカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
全員履修科目	スポーツ特殊講義Ⅰ A	スポーツマッサージ実習Ⅰ スポーツマッサージ実習Ⅱ	スポーツマネジメント論 スポーツビジネス論	スポーツ特殊講義Ⅱ
選択科目	● トレーニング論	● スポーツ心理学 ● コーチング論 ● スポーツ栄養学 ● スポーツ生理学	● 障害者スポーツ論 ● 高齢者スポーツ論 ● 発育発達論 ● スポーツ政策論	● コミュニティスポーツ論
研修		スポーツフィールド実習Ⅰ (国内研修) B		スポーツフィールド実習Ⅱ (海外研修)

● 対象: 本学体育会クラブ所属学生(マネージャー含む)または学外のスポーツ活動で高い評価を受けている学生

1年生秋学期より履修をスタートします。全員履修科目10単位と選択科目10単位以上、体育科目3単位以上(講義科目2単位以上と実技科目1単位以上)の合計23単位以上を修得し、かつ、各学科の卒業要件を充足した者にスポーツキャリアコースの修了書を授与します。

PICK UP **A** スポーツ特殊講義Ⅰ

オムニバス形式で、各スポーツ分野のトップアスリートが講義を実施。自身の競技が人生に及ぼした影響、所属チームでの自身の役割など多岐にわたる講義を聴き、学生自身が取り組むスポーツについて見つめ直します。

PICK UP **B** スポーツフィールド実習Ⅰ

日本国内のトップチームでの研修

国内のトップチーム・トップ選手の取り組みに間近で触れられる実習。試合・練習の補助やトップ選手との交流を通じて、高いレベルのスポーツ理論・技術を学び取り、自身のキャリア形成に活かします。チーム運営、スポーツを取り巻く状況についての講義やファンへのインタビューなども予定しています。

実習先

トリッキーパンダース

バドミントン日本リーグチーム

大阪エヴェッサ

Bリーグ所属 プロバスケットボールチーム

パナソニック・パンサーズ

V・プレミアリーグ所属 男子バレーボールチーム

キャリア形成支援プログラム

Career development program for employment

充実したキャリア教育により、職業について理解し、社会で活躍するために必要な力を修得します。

2015年度
就職内定率

99.1%

就職活動者数を
分母とした場合

卒業後

よりよいキャリア充実に向けて学び続ける。

卒業後の就業支援

入学前

1
年次

2
年次

3
年次

4
年次

卒業後

仲間と出会い、大学生活への
安心感と期待を持ち、大学の
一員としての自覚を持つ

チームワークの基礎を学
ぶとともに、大学での学びの
スタイルを身につける

社会と自分の生き方について
考える中で自己理解を深め、
職業観を養う

企業情報の収集や外部講師の
講演で動機付けを確固たるも
のに

学生から社会人へ移行する
準備期間として、実社会で
求められる力を育む

希望するキャリア形成に向け、
より意欲的に仕事に取り組み、
学び続ける

● 入学前教育

自己との対話や他者とのコミュニ
ケーションを通じて、大学入学時
から卒業までの4年間をイメージ
し、本学の教育理念である「独立自
強」と「社会有為」を体現する人材
となる基礎を築きます。



● プロジェクト入門

学部を横断したメンバーでのチ
ームワークにより、多様なものの
見方や考え方を学び、新入生同
士の結びつきを強めます。

● キャリアデザイン論

将来のキャリアデザインを描き、
大学生生活の過ごし方について
考えます。



● キャリア形成論1

社会とのかかわり方と自らの生
き方との関係について考え、自
分なりの価値観・職業観、社会
情勢などを理解できる視点を
育みます。

● キャリア形成論2

社会人としての「心構え」や「
意識」を養い、日常生活に活
力を持たせることが目的。企
業勤務者や公務員といった
社会人を招聘し、事前学習・
講演・振り返りを通じて社会
から求められる人材観を醸成
します。

● キャリア形成論3

進路選択における企業理解と、
就業基礎力の向上がテーマ。事
前に企業の情報を収集・分析し
たうえで、企業の人事担当者
を中心とした外部講師による
講演に臨み、企業が求める
人材、選考方法、企業人の考
え方などについての理解を深
めます。

● 社会人の基礎

「学生から社会人へのスムーズ
な移行」をテーマに、そのため
の準備を行います。ビジネス
コミュニケーションやリーダー
シップなど、社会人として求
められる能力の向上を目指
します。

● キャリアカウンセリング

卒業後もキャリアカウンセリング
や就職支援セミナーなどの就
職支援を受けることができます。

インターンシップ

プロジェクト

資格取得支援

就職支援

本学で学ぶ知識や経験が確かな力とな
って将来につながるよう、就職
ガイダンス、実践力養成セミナー、
面接対策講座など就職活動の
支援を中心に、一人ひとりの個性
や希望に応じたさまざまなサ
ポートを実施しています。

企業や団体での就業体験を通じて、
社会人として必要なスキルや考
え方を身につけ、実際に仕事
を経験する中で業種や職種、仕
事への理解を深めます。イン
ターンシップをより有意義にする
ための事前・事後学習も実施。
実習時間数に応じて単位を認
定しています。

地域社会や企業・大学など多
様なステークホルダーと連携
した協働プロジェクトを通じ、
実社会で求められる課題発見・
企画立案能力、プロジェクト
推進力などの総合力を養いま
す。

本学では、就職試験の突破や
資格取得をサポートするため、
資格サポートコーナーを設置し、
さまざまな資格講座を開講し
ています。資格取得支援を通
じて、「社会人として必要な
基礎能力の育成」から「目指
す職業に必要なスキルの習得」
にいたるまでサポートしてい
ます。

◆自己PR作成講座

適性検査の結果に基づき、講師の
コーディネートを受けながら自
身の強みや特徴への気づきにつ
ながります。また、他の学生と
のワークショップを行うことで、
より客観的に自分自身を見つ
め直すことができます。講座
終了時には、自己PRが作成でき
ていることを目指します。

◆グループディスカッション対策講座

多くの学生が不安や苦手意識を
抱くグループディスカッション
に、模擬体験を通じて「慣れる」
とともにポイントや採用担当者
の視点を理解します。グルー
プディスカッションは場数がも
のを行うことで、より客観的に
自分自身を見つめ直すことが
できます。「8時間耐久グルー
プディスカッション対策講座」
を用意するなど、徹底して経験
値を高めます。

◆面接対策講座

入室から面接時の立ち居振る
舞いといったマナーや、受け
答えの仕方に至るまで、少人数
による模擬体験を通じて実践
力と自信を身につけます。プロ
の講師による指導と個人への
具体的なフィードバックも受
けられます。さらには、「半日
面接特訓講座」も用意して最
終面接の対策も行うなど、幅
広く面接指導を行います。

※すべての講座において、少
人数クラスを導入。複数回の
開講で全学生が参加できます。

資格・就職試験 対策講座

全学年対象

本学では、就職試験の突破や
資格取得をサポートするため、
資格サポートコーナーを設置し、
さまざまな資格講座を開講し
ています。資格取得支援を通
じて、「社会人として必要な
基礎能力の育成」から「目指
す職業に必要なスキルの習得」
にいたるまでサポートしてい
ます。

◆資格ガイダンス

◆社会人として必要な基礎能力の養成

- Microsoft® Office Specialist(MOS)Word 2013 対策講座
- Microsoft® Office Specialist(MOS)Excel 2013 対策講座
- Microsoft® Office Specialist(MOS)Power Point 2013 対策講座
- TOEIC® L&R 講座(400 / 600 点目標クラス)
- 秘書検定2級対策講座
- 簿記検定3級対策講座
- コミュニケーション検定(上級)対策講座

◆早期からの対策が必要な勉強への取り組み

- 公務員試験について(公務員の職種/講座の特徴/進路チャート)
- 公務員試験(入門)対策講座<教養クラス>
- 公務員試験(入門)対策講座<教養+専門クラス>
- 公務員試験(市役所教養・警察・消防コース)対策講座
- 公務員試験(大阪府内市役所コース)対策講座
- 公務員試験(国家公務員一般職・地方上級・市役所コース)対策講座

◆目指す職業への必要なスキルの修得

- 秘書検定準1級対策講座
- 簿記検定2級対策講座
- ファイナンシャル・プランニング技能検定2・3級対策講座
- 宅地建物取引士試験対策講座
- 住宅ローンアドバイザー試験対策講座
- 国内&総合旅行業務取扱管理者試験対策講座
- 世界遺産検定2級対策講座
- 色彩検定®2級・3級対策講座
- リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級対策講座
- ビジネス著作権検定(初級)対策講座
- ビジネス実務法務検定試験®3級対策講座
- ITパスポート試験対策講座

◆教員採用試験対策講座

- 教員採用試験合格を目指した教職教養の傾向と対策

アドバンスセミナー

意欲・スキルの高い人材を育成し、
ビジネス戦力へ進化させます。

納得内定のサポートを目的に、
就職活動に対する意識・スキ
ルの高い人材を育成するための
セミナーです。参加には学内
選考を通過する必要がある。各
学生の就職・キャリア支援課
行事への参加度や取得単位数、
意欲の高さなどで総合的に判
断し、120名を選出します。

就職活動の専門講師を招き、
活動を通じた「人間の成長」を
目標に現実的な視点から指導
を行います。

プログラム

第1回	就職活動スタートアップ
第2回	自己分析
第3回	産業・業界・企業研究
第4回	エントリーシート作成
第5回	面接を受けるためのコツ
第6回	模擬面接の演習
第7回	グループディスカッションのコツ
第8回	グループディスカッションの演習
第9回	グループワーク演習

※プログラム内容は変更する場合があります

本学で修得した特定の単位を利用して得られる資格として「教職課程」、「博物館学芸員課程」、「社会教育主事課程」、「レクリエーション・インストラクター課程」の4つの資格課程を開設しています。これらの資格を取得しようとする学生は、年度始めに実施されるオリエンテーションに出席し、卒業に必要な単位のほか、それぞれ定められた単位を修得しなければなりません。

取得を希望する場合は教務課に相談してください。詳しくは『STUDY GUIDE』をご覧ください。

各学科の取得可能資格一覧 (各学科における特定の科目を履修し、単位を修得することにより、資格が得られます。)

	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他
経済学部	社会	地理歴史・公民・商業	学芸員 / 社会教育主事 ^{※1} / レクリエーション・インストラクター
経営学部	【学科共通】社会	【経営学科】公民・商業 【マーケティング学科】公民・商業・情報	【学科共通】学芸員 / 社会教育主事 ^{※1} / レクリエーション・インストラクター
地域創造学部	社会	公民	学芸員 / 社会教育主事 ^{※1} / レクリエーション・インストラクター / 社会調査士
社会学部	社会	公民	学芸員 / 社会教育主事 ^{※1} / レクリエーション・インストラクター / 社会福祉主事(任用資格) / 児童福祉司(任用資格) ^{※2} / 児童指導員(任用資格)
心理学部	社会	公民	学芸員 / 社会教育主事 ^{※1} / レクリエーション・インストラクター / 産業カウンセラー(受験資格) ^{※3} / 認定心理士(認定資格) / 臨床心理士(大学院修了後受験資格) / 学校心理士(大学院修了後受験資格) / 臨床発達心理士(大学院修了後受験資格)
国際教養学部	【国際教養学科】英語 【国際日本学科】 社会・中国語・国語	【国際教養学科】英語 【国際日本学科】 地理歴史・公民・中国語・国語	【学科共通】学芸員 / 社会教育主事 ^{※1} / レクリエーション・インストラクター

※1 卒業後、1年以上社会教育主事補を務めた後に取得

※2 卒業後、「指定施設」において、1年以上の実務経験が必要

※3 一般社団法人日本産業カウンセラー協会が実施する「産業カウンセリング実習講座」の修了が必要

その他資格取得サポート (資格サポートコーナー)

本学では資格課程以外に、就職試験の突破や資格取得をサポートするために様々な資格講座を学内で開設しています。さらに2014年度より、1号館1階就職・キャリア支援課内に資格サポートコーナーを設け、学生サポートを強化し、大学4年間の中で効率よく資格取得を目指せるよう、専任のスタッフが学生個々にあった相談を行います。また学内の資格講座をご案内するだけでなく、各種検定試験のご案内や申込受付も行ってまいりますのでお気軽にお立ち寄りください。

- 専任スタッフが常駐し、個別カウンセリングを実施
- 資格取得や公務員試験などさまざまな対策講座を開講
- 受験手続・合格するまでのフォローを実施
- 学内で講座や試験をより割安に受講可能
- 学内で受験可能な資格試験も

講座一例

社会人として必要な基礎能力の養成

- ・Microsoft® Office Specialist (MOS) Word 2013 対策講座
- ・Microsoft® Office Specialist (MOS) Excel 2013 対策講座
- ・Microsoft® Office Specialist (MOS) Power Point 2013 対策講座
- ・TOEIC® L&R講座 (400/600点台目標クラス)
- ・秘書検定2級対策講座
- ・簿記検定3級対策講座
- ・コミュニケーション検定 (上級) 対策講座

目指す職業への必要なスキルの修得

- ・秘書検定準1級対策講座
- ・簿記検定2級対策講座
- ・ファイナンシャル・プランニング技能検定2級・3級対策講座
- ・宅地建物取引士試験対策講座
- ・住宅ローンアドバイザー試験対策講座
- ・国内&総合旅行業務取扱管理者試験対策講座
- ・世界遺産検定2級対策講座
- ・色彩検定*2級・3級対策講座
- ・リテールマーケティング (販売士) 検定2級・3級対策講座
- ・ビジネス著作権検定 (初級) 対策講座
- ・ビジネス実務法務検定試験*3級対策講座
- ・ITパスポート試験対策講座

公務員試験の対策

- ・公務員試験について (公務員の職種/講座の特徴/進路チャート)
- ・公務員試験 (入門) 対策講座<教養クラス>
- ・公務員試験 (入門) 対策講座<教養+専門クラス>
- ・公務員試験 (市役所教養・警察・消防コース) 対策講座
- ・公務員試験 (大阪府内市役所コース) 対策講座
- ・公務員試験 (国家公務員一般職・地方上級・市役所コース) 対策講座

*上記以外にも様々な資格講座を設けています。詳細はホームページもしくは資格サポートコーナーへお問い合わせください。

対象年次

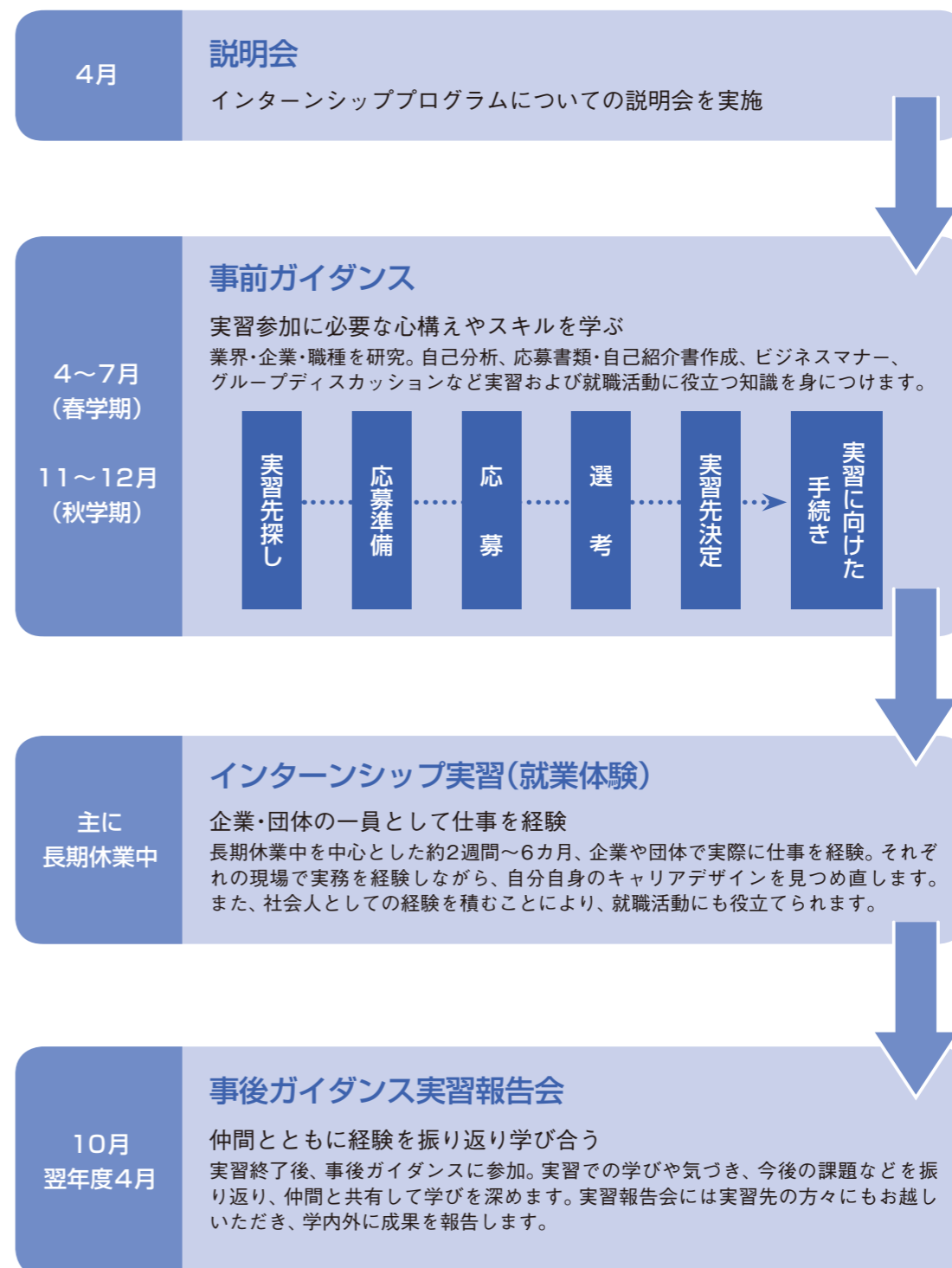
1 年次 **推奨**

2 年次 **推奨**

3 年次

4 年次

企業や団体などでの就業体験を通じて、社会人として必要なスキルや考え方を身につけます。実際に仕事をする中で業種や職種、仕事への理解を深めるためのプログラムとして、昨今インターンシップに強い関心が集まっています。本学では全学年を対象に実施しており、繰り返し参加可能な制度を設計しています。また、実践度の高い中長期のインターンシップ及び海外でのインターンシップも大学独自にコーディネートしており、質・量ともに拡充しています。納得できる進路決定に向け、早い段階から実社会に触れることで、大学生活をより一層有意義なものにしていくことができます。そのため、1・2年次からの参加を推奨しています。



※夏季休業期間において実施されるインターンシップ実習にむけての流れは左記の通りです。具体的な日程や応募方法などについては、UNIVERSAL PASSPORTを通じてお知らせします。
*インターンシップの制度や流れ等は変更する場合があります。お問い合わせは就職・キャリア支援課まで。(場所:1号館1階)

最適な時期、最適な期間で段階的にレベルアップできる本学の留学プログラム。学内や海外での経験をしっかりと自分のものにしてから次に進み、就職活動やその先に活かせるように計画しています。

外国語と異文化に親しむ 学内国際交流

海外からの留学生や英語圏出身の先生たちと学内で気軽に国際交流。

English Café at Otemon

コミュニケーションを中心とする英語学習スペース。いつでも気軽に英会話を楽しみ、自律学習や資格試験のサポートなども実施しています。

日本語パートナー

世界各国から来た外国人留学生の日本語学習をマンツーマンでお手伝いするのが日本語パートナーの役割です。

Japan Program

海外協定校からの外国人留学生を対象に、日本の社会や歴史などをテーマとして英語で実施する特別授業。長期留学に選抜された日本人学生も履修可能です。

海外に飛び出して経験を積む 短期留学

現地の言葉と文化に触れ、体験的に異文化への理解を深める。

海外セミナー (オーストラリアボランティア体験プログラム)

西オーストラリア州パース近郊を訪れ、ボランティア活動などを体験できるプログラム。活動を通じ、言語と現地の文化について理解を深めます。

海外セミナー (イギリス語学留学プログラム)

国際都市ロンドンの中心部にあるリージェンツ大学で、本場の英語を学ぶとともに、イギリスのさまざまな文化に触れ、異文化理解を深めます。

海外セミナー (台湾・韓国)

静宜大学(台湾)、建国大学(韓国)にそれぞれ短期留学し、歴史と文化に触れるとともに、語学力のアップを目指します。



卒業後のキャリアにつながる 長期留学

目的・目標を明確に持ち、さらなる語学力の向上と、自らの成長を目指して。

交換留学

海外協定校と相互に学生交換を行う留学制度です。学内選考の要件を満たしたうえで応募し、選ばれば交換留学生として最大9カ月間、語学コースまたは正規課程で学修します。



認定留学

留学したい大学、学びたいテーマなどが明確で、本学の単位を一定以上修得している場合に限り、事前に申請し、許可されれば留学期間を在学年数に算入できる制度。留学中に修得した単位を卒業要件単位数に含めることができ、4年間の卒業も可能となります。

E-CO (English Café at Otemon)

E-CO (English Café at Otemon) は 2013 年 4 月 1 日オープンした英語学習施設です。



中央棟 2F にある「English Café at Otemon (通称: E-CO)」は、コミュニケーションを中心とする英語学習スペースです。いつでも気軽に英語を話せる場所であることはもちろん、ワークショップやセミナーなど、自律学習や資格試験のためのサポートプログラムも実施。豊富な教材や自習スペースも備わっており、目的に応じて利用できます。



E-COの目標は

- 言語学習力
- 英語力とコミュニケーション力
- グローバル人材としての意識

を育成する為のサポートをすることです。以下のサービスを提供しています。

- 学生がリラックスして英語で交流することができる環境
- 英語学習の教材
- 学習方法についての講座、ワークショップ、学習サポートサービス



E-CO(English Café at Otemon) の利用方法

E-CO は自律学習施設なので、利用方法は様々です。友達と Cafe Space で気軽に英会話を楽しんだり、映画を観たり、留学のために教材を利用して勉強をしたり、興味のあるワークショップに参加したり、課題について先生に相談したり、またはラーニングアドバイザーの支援を受けながら自律学習プランを立て実行するなど多くの利用方法があります。E-CO スタッフは各ユーザーが自分のニーズに応じて E-CO を活用することを望んでいます。何をすればいいかわからない方、迷っている方はぜひスタッフに相談してください。

E-COから皆様へメッセージ

E-CO では多くの追大生と教職員に対して、学習サポートサービスや E-CO 講座を行うことで皆さんの英語学習を支援したいと考えております。気軽に英語を話して、友達も作ることができます。英語力にあまり自信がない学生は心配しないでください。日本語でのサポートもできます。英語力に関わらず英語の環境に触れたい方は是非 E-CO へお越しください。

留学プログラム一覧

	内容	期間	留学先	対象	募集
長期留学	交換留学	【中期】約3~6ヵ月 【長期】約9ヵ月(アメリカ)	オーストラリア、アメリカ、スペイン、ドイツ、オランダ、イギリス、インド、中国、韓国、台湾、タイ	全学部 1~3年次 [応募時]	毎年度10月頃 書類提出締切
	認定留学	1学期間もしくは2学期間	留学先は学生自身が決定	全学部 2~3年次 [応募時]	【春出発】前年度11月末 【秋出発】当年度5月末
短期留学	海外セミナー (オーストラリアボランティア体験プログラム)	約3週間	オーストラリア	1~3年次	書類提出締切 9~10月頃
	短期海外セミナー (台湾・韓国)	2~3週間	台湾 韓国	1~3年次 全学部全学年	台湾:9~10月頃 韓国:5月頃
	海外セミナー (イギリス語学留学プログラム)	3週間	イギリス	全学部全学年	5月頃

E-COで英語力アップ

4つのPOINT

1 コーヒーを片手にリラックスして英語を学ぶ

リラックスしながら話すことも、上達のためのひとつの方法。カフェスペースでの「Coffee Talk」に参加して、留学生や英語圏出身のスタッフとの英会話を楽しみましょう。

2 英語での「困った」を一緒に解決してくれる

20分間のセッションで行われる「English Practice」。会話、英文法、エッセイ、プレゼンテーションなど、英語にまつわる疑問や課題を解消するためのサポートを行っています。

3 アドバイザーによる個別カウンセリング

「E-CO」には、言語学習の専門家であるラーニングアドバイザーも常駐しています。まずは「Advising」を受け、自分に適した学習方法を見つけるところから始めてみませんか？

4 各種資格試験の対策講座やワークショップで学習サポート

TOEIC®やIELTS™などの資格試験の対策講座やワークショップを開講。そのほか、週に1回の授業で、英語の日常会話に身をつく「Everyday English」なども実施しています。

キャリア・アクションcommons

キャリア・アクションcommonsは学生の皆さんの一歩踏み出す“アクション”を支援します。ワークショップやミーティング、さらには基礎学力アップのためのコミュニケーションスペースとして活用して下さい。就職・キャリア支援課スタッフが常駐しています。

キャリア・アクションcommonsの3つのセクション

■ミーティング・プロジェクトワーキングスペース

インターンシップやプロジェクト活動に取り組む学生のミーティング・ワーキングスペースとして利用できます。パソコンも2台設置されているので便利。利用予約は常駐スタッフまで申し込んで下さい。

■学習支援コーナー

英語・数学・国語などの基礎学力アップ学習の場として利用できます。個人的な学習の悩みも相談して下さい。SPIセミナーなどの学習プログラム・イベント開催も予定しています。担当教員が<火・水・木の午後>に在室していますので気軽に声をかけて下さい。

教職支援センター

教職支援センターは、教員を志望する学生及び卒業生に教員採用試験合格のための支援を行っています。教職に関する豊富な知識や現場経験をもった担当教員が常駐しているので、学校の先生を志望する学生が、気軽にやってきて、いろいろな相談をしていきます。

2017年度の教員採用試験では、大阪府中学校・英語1名(2016.3卒)、日本大使館付属ジャカルタ日本人学校中学部・英語1名(2016.3卒)が、それぞれ合格しています。

■センターのおもな活動内容

- ・教職、教員採用試験に関する個別相談・個別学習プランの作成
- ・教員採用試験対策セミナー、講演会、学習会等の開催
- ・教員採用試験や講師登録に関わる情報提供
- ・教員養成、教員採用試験に関わる図書資料の収集、提供
- ・学習スペース(専用自習室)の提供
- ・スクールサポーターの紹介、あっせん
- ・卒業生教員との交流・連携

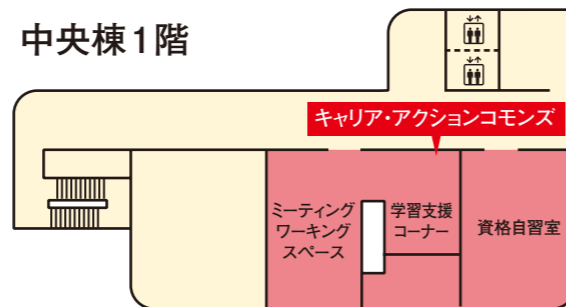
■採用試験に合格するには、1年次から準備することが必要です。

一般に公立学校の教員採用試験では、教職教養、一般教養、専門教科・科目、面接(個人面接または集団面接)、実技などが出題範囲となっています。例えば、一般教養では英語、数学、国語、理科、社会、情報、時事問題など多くの分野から出題されます。さらには、倍率も高いため、合格するためには1年次から計画をたてて、しっかりと勉強しましょう。

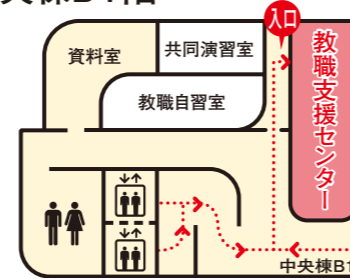
■資格自習室

就職・キャリア支援課が開講している資格講座・公務員講座を受講している学生が利用できる特別自習室です。落ちついて勉強できる静かな環境を提供します。

資格・公務員試験合格を目指して、是非利用して下さい。利用の際には常駐スタッフまでお声かけください。



中央棟B1階



図書館

図書館の蔵書数は約50万冊です。学生・大学院生・教職員の学習や教育・研究に必要な資料や、教養のための資料を収集し、提供しています。それら資料には、図書、雑誌ばかりではなく、ビデオやDVDなどの視聴覚資料、そして資料や情報を検索・入手するためのオンラインデータベースなども含まれます。

館内案内図

2階



■館内閲覧 A

開架閲覧室の資料は、自由に閲覧・貸出することができます。また、書庫内の資料は「資料申込書」に記入して申し込めば、閲覧・貸出もできます(学外書庫に保管している資料は、申し込み日の翌日以降に利用できます)。

■視聴覚資料の利用 B

ビデオ・ブルーレイ・DVD・CDなどの視聴覚資料は、視聴ブースで利用できます。

■館外貸出・返却・予約 C

図書は、20冊2週間借りることができます(辞書・事典や新聞など、貸出できない資料もあります)。読みたい資料が貸出中の場合は、予約することができます。

■ラーニング・commons (図書館2階) E

学習するために集える共有スペースです。会話や議論しながらさまざまな形態でアイデアを出し合えるように、机やイス、タッチディスプレイ、ホワイトボードなどを移動させて自由に使うことができます。

■個人学習室 (図書館4階)

集中して勉強や読書をするためのサイレンスフロアです。女性専用学習室もあります。

■オーストラリア・ライブラリー (図書館3階)

日本国内で唯一のオーストラリア専門の図書館です。オーストラリア政府からの「豪日交流基金寄贈書」にオーストラリア研究所(現オーストラリア・アジア研究所)の蔵書を加えて開設しました。蔵書は、オーストラリアの歴史、経済、産業、文化、芸術など各分野にまたがっており、先住民アボリジニに関する図書も多数あります。

■宮本輝ミュージアム (エントランスホール) D

本学第一期卒業生で、芥川賞・太宰治賞作家の宮本輝氏のミュージアムです。常設展示のほか、企画展を開催します。宮本氏の作品を全て揃えています。先輩の作品を、ぜひ手にとってみてください(一般公開、入場無料)。

学生生活

Campus life

大学は、学問探究の場だけでなく、同時に人間形成の場でもあります。お子様がその大切な4年間を有意義に過ごせるように、保護者の皆様にご理解いただきたいことを以下にまとめました。

学費納付

学費納付については、銀行預金口座からの自動振替（引き落とし）でお願いいたしております。また、納付に際しては、以下のことにご留意ください。

■学費納付（自動振替）について

学費の納付時期（春学期は4月上旬、秋学期は9月上旬）になりますと、大学から保護者宛に納付案内が送付されます。

学費は、春学期4月26日、秋学期9月26日に、入学後に手続きいただいた預金口座から自動的に振替えられます。手続きにつきましては、入学時および入学された年度の6月頃に財務課より案内させていただきます。

残高不足等により振替日に自動振替ができていなかった場合には、教授会の議決により「除籍」となりますので、預金口座への残高確認と入金はお早めに済ませておいてください。

なお、銀行が営業日でない場合は、翌銀行営業日が振替日となります。

また、自動振替に関しては、本学から領収書の発行は行いませんので、通帳での記帳において振替のご確認をお願いします。

■分納・延納について

入学時納付金を一括納付された以降（1年生の秋学期から）の学費納付については、通常の一括納付に加えて、納付金額を3回に分けて納付する「分納」と、納付期限を延長して一括納付する「延納」の2種類の方法を選択することもできます。

ただし、対象は、経済的事情等により、期日までに一括納付する事が困難と認められた者に限ります。なお、「分納」「延納」の許可を得るにあたっては、決められた期限内に財務課の窓口で、所定の申請書によって手続きを行ってください。

申請の期間は、春学期は2月上旬から4月上旬まで、秋学期は、7月上旬から9月上旬までです。日付やその他必要事項については、事前に財務課掲示板、大学ホームページ、UNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。手続期限は、年度によって若干変更しますので、必ずご確認ください。「分納」「延納」が許可された場合は、通常の一括納付とは違い、財務課から送付する振込用紙による銀行窓口での納付手続となります。また、手続きされないで延滞された場合は、督促状が發送されることとなりますのでご注意ください。

「分納」「延納」の振込期日は、以下のとおりです。

	第1回	第2回	第3回	
分納（春学期）	4/26	5/26	6/26	分割
分納（秋学期）	9/26	10/26	11/26	〃
延納（春学期）	—	—	6/26	一括
延納（秋学期）	—	—	11/26	〃

*「学費納付」に関する問い合わせは、下記までご連絡ください。

財務課：072-641-9611

窓口受付時間：月曜日～金曜日 9:10～17:00

■図書館のホームページ

開館カレンダー、蔵書目録（OPAC）などを一般に公開しています。オンラインデータベース、電子ジャーナルの入り口にもなっています。雑誌記事・論文や新聞記事を効率よく検索できるデータベースや電子ジャーナルを学外から利用できるような提供しています。

OPAC 必要な図書があるか、また特定のテーマ・主題でどんな図書や雑誌があるかなどはすべて蔵書目録（OPAC）で検索できます。OPACの使い方がわからない場合は、図書館員に尋ねてください。

開館時間

平日 8:30～19:50

土曜日 補講日のみ開館

※授業日以外の平日、または土曜日（補講日）の開館時間などについては図書館ホームページにて確認をお願いします。

ホームページ

<http://www.oullib.otemon.ac.jp/>

休館日

- ・日曜日・祝祭日・大学が休業になる日
- ・書架点検日
- ・入学試験日
- ・夏季および冬季休業日
- ・その他、臨時の休館日および開館時間の変更は、その都度掲示します。
- ・開館日・時間の詳細は、図書館ホームページやカウンター配布の「開館カレンダー」で確認してください。

教育開発センター

教育開発センターでは、全学の教育力向上を図るためファカルティ・ディベロップメント（FD）※を推進しています。具体的な取り組みとして、カリキュラム改善（教育目標の設定等）や授業改善（授業コンサルティング等）の支援、教員の能力向上を目的とした研修の企画・実施があります。授業コンサルティングは授業改善を目的として、教員一人ひとりに対してきめ細やかな支援を行っており学生の能力向上に寄与しています。

そのほか本センターでは、「追手門学院大学リーダーズ・スクール」、「学生FD」、及び「UNGL」の三つのプログラムを通して、学生のソーシャル・スキルやリーダーシップ・スキル育成にも力を入れています。「追手門学院大学リーダーズ・スクール」は複合型教育プログラムとなっており、学生はリーダーシップに関する理論や実践例を学び、他者に考えを伝える際に求められるプレゼンテーション能力や、そのために必要な情報収集や状況分析、資料作成の方法を身につけます。「学生FD」は、学生自らが企画・実施・運営を行い、教育改善のための様々な取り組みを行っています。「UNGL：西日本から世界に翔

たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」では、本学以外にも13校の大学・短大で構成されており、大学間の壁を越え、国内外の多岐にわたるフィールドで異文化交流型のリーダーシップ・プログラムが実施されています。

詳細は教育開発センターHP（<https://www.otemon.ac.jp/education/support/ced/>）をご覧ください。

※ファカルティ・ディベロップメント（FD）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称です。広義には、教員のみならずカリキュラムを含めた大学全体の教育改善の取り組みも指します。



学業支援システム

■奨学金制度

奨学金制度は、経済的な理由で修学が困難な学生に対して、一定の金額を貸与または給付することにより、学資の負担を軽減し、学業継続を援助することを目的としたものです。

大学では給付奨学金制度を複数設け、また教育後援会の支援による給付制奨学金2制度もあわせて経済面での支援を行っております。

また、「日本学生支援機構奨学金」や民間・地方

公共団体の各種奨学金も申込できるものがあります。奨学金はそれぞれ、趣旨、選考基準、金額などが異なりますが、いずれの奨学金も学力・経済状況・人物などにより選考されます。

特に、貸与制奨学金については、将来の返還のことも含め、学生ご本人ともよく相談のうえ申し込んでください。

なお、募集については、その都度学生課の掲示板に掲出しますが、詳細は学生課に問い合わせてください。

主な奨学金の概要

名称	種類	貸与・給付額	募集期間		
追手門学院大学給付奨学金	給付制(返還義務なし)	年額 200,000円	6月		
追手門学院大学入学試験成績優秀者給付奨学金	給付制(返還義務なし)	授業料相当額 750,000円	一般入試A日程(3科目方式)と大学入試センター試験利用入試で選抜。		
追手門学院大学学業成績優秀者給付奨学金	給付制(返還義務なし)	授業料相当額 750,000円	4月(2年生以上対象)		
追手門学院大学教育後援会給付奨学金	給付制(返還義務なし)	各学期授業料相当額 375,000円	6月および12月(前年度)		
追手門学院大学スポーツ活動実績優秀者給付奨励金	給付制(返還義務なし)	実績により 500,000円 400,000円 200,000円 100,000円	新入生は特別選抜入試およびスポーツ推薦入試による入学者の中から選抜。在学生は5月募集。		
追手門学院大学教育後援会修学援助給付奨学金	給付制(返還義務なし)	年額 500,000円	学費支弁者死亡時のみ(事由発生後3ヶ月以内等申込要件あり)		
追手門学院大学卒業生保護者の会教材支援奨励金	給付制(返還義務なし)	図書カード 20,000円分	教育後援会給付奨学生対象に支給		
追手門学院大学校友会将軍山奨学金	給付制(返還義務なし)	年額 200,000円	6月(予定)		
日本学生支援機構	第一種奨学金	貸与制(無利息)	月額 自宅・自宅外 30,000円 自宅 54,000円 自宅外 64,000円	4月初旬	
		第二種奨学金	貸与制(有利息)	下記から選択 月額 30,000円 50,000円 80,000円 100,000円 120,000円	4月初旬
				民間育英団体地方公共団体奨学金	貸与制または給付制

※1：申込はすべて入学後になります。 ※2：2017年度奨学金等については変更する場合があります。

■家計急変時の救済制度 (家計支持者の死亡・病気・失職、風水害などの災害によるもの)

日本学生支援機構では、家計急変者に対する救済制度として緊急・応急貸与奨学金が設けられています。家計の急変により真に学費の捻出が困難となった場合に貸与奨学金を活用してください。受付は学生課にて随時行っています。

■日本政策金融公庫「国の教育ローン」

学校納付金(入学金、授業料等)やアパートの家賃等を保護者に融資する公的な制度です。

申し込みについては、教育ローンコールセンターへ

お問い合わせください。

〈お申込に関するご相談お問い合わせ先〉

教育ローンコールセンター TEL: 0570-008656

■提携教育ローン「オリコ学費サポートプラン」

(株)オリエンタコーポレーションと提携した学費ローン制度があり、インターネットから申し込みができます。詳細については、学費サポートデスクにお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

学費サポートデスク

TEL: 0120-517-325 (平日9:30～17:30)

追手門学院大学学生表彰制度

追手門学院の教育理念に基づく人材育成を目的に、追手門学院大学において学業や文化・スポーツ等で優秀な成績を修めた学生・大学院生または団体、本学の名誉を著しく高めたと認め

られる学生・大学院生または団体、他の学生の模範となる活動をされた学生・大学院生または団体を表彰します。表彰の対象及び対象分野は、以下のとおりです。

学業、学術・研究において顕著な成績を修めた者	学会賞・学会奨励賞・優秀論文(学位論文、卒業論文等)
学会等で受賞した者	
文化・スポーツにおいて優秀な成績を修め、その功績により本学の名誉を高めたと認められる者	国際レベルあるいは全国レベル、これに準ずる大会等の成績優秀者
学内外の社会的諸活動に自主的・積極的・意欲的に取り組み、それらの諸活動を通じて本学の名誉を著しく高めたと認められる者	各種ボランティア活動、市民活動、NPO・NGO活動、国際親善・国際交流活動、企業または団体の幹事・委員学内業務支援スタッフ

いずれも、学内外の他の受賞と重複することができます。自薦または教職員3名以上による他薦に基づき、学生表彰選考委員会が表彰を決定します。対象実績期間、応募方法など詳細についてのお問い合わせは学生課へお願いします。

キャンパスマナーについて

本学では、学院の教育理念である「独立自強・社会有為」を身に付けた学生を社会に送り出すため、全ての学生が学生生活を送る上で守るべき必要な事項について定めた、「追手門学院大学キャンパスマナーに関する指針」を制定し、定められた喫煙場所以外での喫煙やキャンパス内での迷惑行為を禁止しています。

違反者には保護者を交えての指導や学則に基づく懲戒処分となることがありますので、保護者の皆様におかれましてはご家庭でも十分に注意するようご指導ください。全ての学生が快適な学生生活を送れるよう、皆様のご協力をお願いします。

追手門学院大学キャンパスマナーに関する指針

1. 学生は、学生証の交付を受け、常に携帯し、本学教職員の請求があったときは、これを提示しなければならない。
2. 学生は、他人に迷惑をかける行為をしてはならない。
3. 学生は、定められた喫煙場所を除き構内で喫煙をしてはならない。また、法律に基づき、未成年者はいかなる理由があろうと喫煙をしてはならない。
4. 学生は、監督する教職員の届出により許可された場合を除き、構内で飲酒をしてはならない。また、法律に基づき、未成年者はいかなる理由があろうと飲酒をしてはならない。
5. 学生は、届出により許可された場合を除き、自動車通学をしてはならない。また、許可を受けた場合においても、指定された場所以外に、自動車、自転車、単車等を置いてはならない。
6. 本指針に違反したものは、学則第64条に定める処分のほか、別に定める罰則の対象とする。(右表参照)

違反回数/1回目

罰則/
学生課に呼び出し、注意・指導の上、保護者へ文書による通知

違反回数/2回目以上

罰則/
反省文の提出及び学則第64条による停学処分

追手門学院大学学則第64条

学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。

- 2 懲戒は、戒告、停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者について行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

自動車通学の禁止

大学では、1・2年生の自動車通学は、理由の如何を問わず一切禁止しています。

3・4年生については、特別な事情がある者に限り、自動車安全運転講習会を受講した学生のみ許可することにしてあります。このことは、駐車台数に限りがあり、交通公害や自動車事故防止の教育的配慮によるものです。

自動車安全運転講習会においては、安全運転講習と共に学内で特に注意が必要な箇所についての説明を行っています。

大学では、自動車安全通学を徹底するため、学内掲示などで注意を喚起し、日々指導を行っています。中には再三の注意にも関わらず、無許可で自動車通学を行い、問題を起している例もあります。

違反者には、学内規則により罰則が適用されます。保護者の皆様におかれましては、今一度大学の意図するところをお含みいただき、自動車通学禁止措置にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

アルバイト

近年、アルバイトは、ほとんどの学生が経験し、ごく当然のように受けとめられています。その目的も「学費や生活費を得る」ことから単に「生活をエンジョイするため」というものまでさまざまですが、大学がアルバイトの紹介を行うのは、言うまでもなく学生に対する経済的な側面の援助を第一の目的としています。もう一方では、アルバイトによる実際の労働を通して視野を広げ、自立自助の精神を培うといった意義も認められるからです。このことから、単なる小遣い稼ぎの目的でアルバイトをすることはもちろん、安易な考えで必要以上のアルバイトをすることは、慎まなければなりません。特に注意しなければならないのは、「学業とアルバイトの両立」という問題です。これはたいへん難しいことですが、アルバイトに対する心構え

次第(計画的に行う)で、必ずしも不可能ではありませんから、できるだけ学生の本分である学業との兼ね合いもよく考慮してアルバイトを選択してください。大学では、学生情報センターに加入し、本学ホームページ上で、「追手門学院大学アルバイト紹介システム」としてアルバイト求人情報を提供しています。これは、パソコンや携帯電話を利用してアルバイト情報を閲覧できるシステムで、アルバイト制限職種は掲載していませんので、安心して利用いただけます。

保護者の皆様におかれましては、本人がアルバイトをする場合、学業に支障がないか、危険な仕事に就労していないかなどを常日頃から注意していただきたいと思います。なお、アルバイトについて、質問、問題がありましたら、学生課に相談してください。

アルバイト制限職種

危険を伴うもの	プレス・ボール盤・旋盤・裁断機等自動車機械の操作、高電圧・高圧ガス等危険物の取り扱い作業、自動車・単車の運転、警備員
人体に有害なもの	農薬、劇薬など有害な薬物を扱う作業
法令に違反するもの	労働争議に介入するおそれのあるもの、営利職業あせん業者への仲介あせん、マルチ、ネズミ講商法に関するもの
教育的に好ましくないもの	バー・キャバレー・マージャン・パチンコなど風俗営業の現場作業、競馬、競輪場等ギャンブル場内の現場作業、選挙活動
その他	人命に関わることが予想される業務(無資格の水泳指導員、監視員、ベビーシッター等)

SJ (スチューデントジョブ) 制度

オープンキャンパススタッフ、スチューデントアシスタント(パソコン操作サポート)、入学前教育スタッフ等、学生が学内で行うアルバイトがあります。事前研修や業務実施の経験が学生自身のスキルアップにつながります。学内アルバイトを行うには、SJ制度に登録することになっています。

ひとり暮らしのために

学生の約10%弱が自宅外通学者です。大学ではよりよい環境で安心して生活ができるよう、多くの物件を扱っている提携不動産会社の紹介を行っています。

■遠隔地扶養者証(健康保険証)

遠隔地扶養者証は、家族が加入している健康保険から、本人のみを抜き出して被保険者として証明するものです。万一けがや病気をしたときに医療費の負担を軽くするために、必ず本人に持たせてください。

手続きは、在学証明書を保険機関に提出し、依頼してください。

■住民登録はお済みですか?

新住居が決まれば、現在居住している地区の役所にて転出証明書(印鑑持参)を取り、新たに居住する地区の役所に、住民登録(転出証明書と印鑑持参)をしてください。

また、大学の学内情報システム UNIVERSAL PASSPORT の「学籍情報変更申請」にて住所の届け出をするように指導してください。(P.15参照)

■防火管理(家財保険)

火災は、取り返しがつかない恐ろしいものであることは言うまでもありません。火災の原因となる、たばこ、暖房器具などの後始末や火元には十分注意するよう指導してください。なお、仮に下宿先で火災に遭い、被害者となった場合、ほとんど補償してもらえないのが実情です。

このような万一の災害などに備えて、**学生総合保障制度(学生・子ども総合保険 自宅外通学生用)**に加入しておくことをお勧めします。任意加入ですが団体割引の適用を受けることができます。保障制度については、取扱い代理店(株)エヌ・アイ・エー/株)オーティーエム TEL:0120-041-088 ※平日9時30分~17時まで)に問い合わせてください。

住所などを変更した場合は、必ず届け出を

住所・電話番号(含む携帯電話番号)または親元の住所・電話番号を変更した場合は、速やかに学内情報システム UNIVERSAL PASSPORT を利用して変更してください。

なお、改姓・改名の場合や、国籍の変更または保護者の異動が生じた場合は、学生課窓口へ届け出てください。

電話による学生の呼び出し

ときおり保護者の方から電話による学生の呼び出しの依頼がありますが、大学での授業は、学生の選択により、個人個人の時間割が異なる関係上、学生一人ひとりの居場所は、把握できません。したがって、**電話口への取り次ぎはお断**

りしております。放送連絡も原則として行っておりません。

緊急の場合においても、掲示板による連絡しかできませんので、あらかじめご承知おきください。

学生ローンには、注意を

サラリーマン金融など同様に「学生ローン」は、利息が利息を生み、その返済に本人はもとより、保護者が四苦八苦しているようなことがあります。学生ローン、ネズミ講などに絶対手を出さないように、また、学生ローンは、「学

生証」だけで気軽に借りれるため、学生証の管理についても十分注意するように保護者の皆様からも指導してください。もし学生証を紛失した場合には、大学学生課・最寄りの警察署に届け出るようにしてください。

課外活動

■課外活動の意義

課外活動は学生の自主的な活動の場です。集団生活を通して他人への理解を深めるとともに、自己を見出し、正課授業では学び得ないものを会得できるものと考えています。このことから大学は、課外活動を広く奨励しています。

特に新入生にとって課外活動は、友達づくりの場でもあります。大学生活に早く慣れるためにも、多くの友達をつくるのが期待されます。自分自身でしっかりとした目的意識と生活設計を考えて、学業との両立のもとに、課外活動に取り組んでいただきたいものです。

■学友会

学友会は、すべての学部学生で構成され、新入生は入学と同時に全員学友会会員となります。学生の自治活動を基本に、会員の人間形成、学生生活の充実に資することを目的としています。

■体育会

体育会は、武道、球技、その他あらゆるスポーツの分野にわたって活動を行い、それらを体育会本部が統轄しています。体育会会員は、それぞれ健全な肉体と精神を育成することを目的とし、各種行事を通じて、会員全体の相互親睦を図っています。

■文化会

文化会は、音楽局、一般芸術局、学術局の3局で構成されており、文化の各分野にわたって活動を行い、これらを文化会本部が統轄しています。文化会では、会員一人ひとりの主体性、自主性などを築き上げることを目的としています。

■無所属会

体育会、文化会、などのいずれにも属さない学生が無所属となります。そうした学生の代表機関が無所属委員会です。

■特別委員会

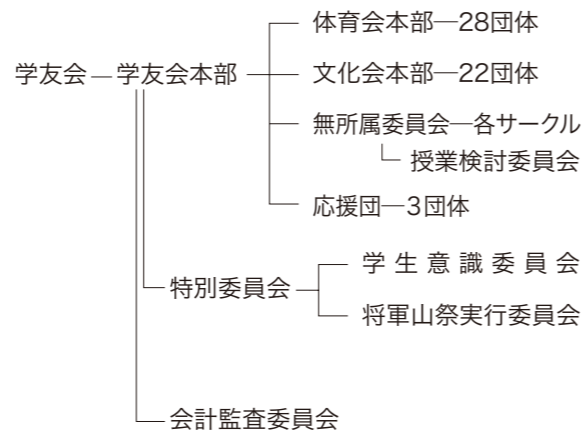
学生意識委員会（学生の意見を聴き、主に福利厚生面の充実を目指して大学に提案し、交渉に当たる）、将軍山祭実行委員会の2団体があります。

■応援団

学生を盛り上げ、大学をもっと元気にするために、リーダー部、吹奏楽団、チアリーダー部が三

部一体となり、運動部の応援や学内外のイベントに出演します。

■学友会組織



トレーニングセンター (追fit)

トレーニングセンターは、課外活動団体のトレーニングのほか、団体に所属していない一般学生や教職員の健康維持を目的とした施設です（利用には講習会の受講が必要です）。施設内にはさまざまなトレーニング機器のほか、ケア室には超音波治療器を設置しています。詳細については学生課までお問い合わせください。



第1・第2学友会センター

学友会センターは、各クラブの部室、会議室、ホール・談話室及び防音設備の整った音楽練習室があり、各クラブの日々の活動拠点として利用されています。

第2学友会センターは、より幅広い学友会活動に対応するため、1階はシャワー室等、2階は約50畳の和室で書道や落語等の練習場所、3階は絵画や陶芸等の制作ができる洋室、そして4階は70畳ほどの和室で宿泊可能な研修室として整備されています。

両センターとも、全学生が利用できます。



課外活動団体(体育会・文化会・応援団)

体 育 会		文 化 会	
合 気 道 部	卓 球 部	軽 音 楽 部	文 芸 同 好 会
アメリカンフットボール部	日 本 拳 法 部	ギ タ ー 部	社 会 福 祉 部
空 手 道 部	ニ ュ ー サ イ ク リ ン グ 部	ア メ リ カ 民 謡 研 究 部	レ ク リ ー シ ョ ン 研 究 会
剣 道 部	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	ピ ア ノ 電 子 オ ル ガ ン 部	華 道 フ ラ ワ ー ア ー ト ク ラ ブ
硬 式 庭 球 部	バ ド ミ ン ト ン 部	イ ン ス ト ル メ ン タ ル 部	考 古 学 研 究 会
硬 式 野 球 部	バ レ ー ボ ー ル 部	美 術 部	生 物 研 究 同 好 会
ゴ ル フ 部	ハ ン ド ボ ー ル 部	写 真 部	マ ス コ ミ 研 究 会
サ ッ カ ー 部	洋 弓 部	落 語 研 究 会	児 童 研 究 会
女 子 サ ッ カ ー 部	ヨ ッ ト 部	書 道 部 紫 水 会	旅 行 研 究 会
柔 道 部	ラ グ ビ ー 部	映 画 研 究 部 シ ネ マ ク リ エ ー タ ー	自 動 車 研 究 部
少 林 寺 拳 法 部	女 子 ラ グ ビ ー 部	茶 道 部	放 送 部
ス キ ー 競 技 部	男 子 ラ ク ロ ス 部	演 劇 部「劇 団 飛 行 船」	
漕 艇 部	女 子 ラ ク ロ ス 部		
ソ フ ト テ ニ ス 部	陸 上 競 技 部		
		応 援 団	
		リ ー ダ ー 部	チ ア リ ー ダ ー 部
		吹 奏 楽 団	

健康管理／保健室

健康への過信や無関心からくる不摂生は大きな危険を伴います。大学生になれば、自分の健康を自分で守っていくことが重要です。



大学は全館内禁煙です。未成年者の喫煙は法律違反ですが、タバコによる依存は、ニコチン依存症というつばな病気です。保健室では禁煙外来の紹介や生活指導等いたします。

■疾病や障害をお持ちの方へ

身体に障害のある方、けがや病気で定期的に通院中の方は、障害内容、傷病名、現在の病状、治療内容、大学で可能な日常的配慮や観察点等を主治医に記入してもらい必ず保健室へ提出してください。公害病や特定疾患、各種障害者手帳等をお持ちの方は併せて持参ください。

「検査や治療やリハビリなど定期的な通院や入院が必要で、学校を休む」「体育や課外授業ができない」。保健室で「点眼薬や治療薬、治療食を保管してほしい」「安静や休養が必要」「緊急時に主治医に連絡をとったり急ぐような処置が必要」「定期的に脈拍や血圧、検尿等の経過観察が必要」「食事指導や生活指導が必要」「病気ではないが相談したり知っておいてほしいことがある」等、大学生活上で配慮してほしいことはありませんか。保健室は学生の健康管理の充実と有意義な学生生活を願い、担当教員や主治医、学校医と連絡を密にとりながら障害や病気の状態に合わせた健康管理を行っています。遠慮なくご相談ください。

■応急処置・健康相談・健康教育

学内でけがや急に体の具合が悪くなった時などは、保健室で応急処置や医療機関への紹介・搬送を行います。病気や保健衛生・栄養・薬など専門的なことに限らず、悩みや素朴な疑問にいたるまで、遠慮なく相談に来てください。毎週火曜日は、学校医の診察も受けられます。

■定期健康診断・健康診断証明書発行

定期健康診断は、毎年全員受診義務があります。定期健康診断未検者は、5月末日までに保健所や医療機関で受診し、診断書を提出してください。学内健康診断料は学校負担ですが、学外で受診した場合は**自己負担**です。

就職活動や教育実習等で必要な健康診断証明書は、健康診断の結果を基に発行しています。

定期健康診断受診項目

1. 問診票（自覚症状、既往症など）
2. 胸部レントゲン間接撮影
3. 尿検査
4. 血圧測定
5. 内科検診
6. 身体測定（身長・体重・視力）
7. 色覚検査（希望者のみ）

健康診断の上手な受け方 6箇条 「自分の健康は自分で守る！」

1. 年1回は必ず受けよう
2. 検査はできるだけ同じところで受けよう
3. たとえ病気で通院中でも受けよう
4. 「再検査」「要精密検査」といわれたら、放置せずに検査を受けよう
5. 健康診断のこと、心配事は専門家（医師・保健師等）に相談しよう
6. 健康診断の結果を今後の生活改善にいかそう

注意

疾病や障害の詳しい内容や経過が不明な方の健康診断証明書は、学校医の判断では発行することができないことがあります。

■就職活動やアルバイト先で健康診断証明書が必要と言われたときは？

定期健康診断の結果を記載した健康診断証明書を発行しています。該当年度の定期健康診断を受診していない、必要とする証明書の項目が不足している、再検査や精密検査を終了していないなど発行できない場合もあります。また、体育会員で試合出場等のための証明書が必要な

場合は、定期健康診断項目以外に心電図検査を受けている必要があります。

提出先の指定用紙があるなど、不明な点がある時は保健室に問い合わせてください。

■教育研究活動中の災害事故補償

正課中及び課外活動中の事故によるけがは、保健室に届けてください。大学では、**学生教育研究災害傷害保険**（保険料：全額大学負担）に全学生が加入、正課中及び課外活動中に**急激かつ偶然な事故による外傷**で通院した場合、治療状況に応じた保険料が支払われます。慢性的な障害や内科疾患は適応になりません。また、体育や実習などの正課中の事故等によるけがで通院したときの初診料を大学が補助しています。

正課中の事故でけがをして病院にかかったときは？

1. 初診料を学校が補助します。初診日のレシートを保健室までお持ちください。
2. 通院日数により保険料が支払われるときがあります。

学生相談室

■学生相談室とは

一見楽しそうに見える学生生活。その一方で、様々な悩みを抱える学生も少なくありません。

学生相談室は、大学生活を過ごす中で学生が出会う様々な問題や悩みについて一緒に考え、学生自身が主体的に解決できるように援助する所です。また、必要に応じて適切な専門機関への紹介もしています。「大学生にもなって親が学校に相談するなんて…」と躊躇される必要はありません。「誰に相談していいかわからない」と悩まれる前に、ぜひ一度学生相談室にお電話ください。

学生相談室は、学生自身はもちろん、家族の方も利用できます。臨床心理士をはじめ様々な専門性を持つスタッフで、多様な問題に対応します。

個人の秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

■出席（登校）停止について

麻疹や風疹、インフルエンザ（新型・季節性）などの「学校保健安全法にかかる感染症罹患による出席停止取扱規程」の対象となる感染症に罹患した時は、必ず保健室に届けてください。

医師による登校許可書（学校指定用紙）が出るまで出席（登校）停止となります。また、出席停止は欠席日数に含まれませんので、十分に休養してください。

なお、近年大学生の間に成人麻疹・風疹が流行しています。麻疹・風疹等は幼少期に受けた予防接種の効果が残っていません。できるだけ追加の予防接種を受け、重症化を防ぎましょう。

■お薬について

保健室に来て「お薬ください。」と言っているのになかなかもらえない。それには理由があります。薬は症状・アレルギー等の体質・副作用等全てをきちんと理解し、考慮して使用するものです。保健室ではベッドで休んだり、生活相談、指導等を行っています。

■利用について

<相談時間・お問合せ>

平日 10:00～17:00（受付9:20～17:00）

土曜 閉室

TEL：072-641-9628

Email：sodan@otemon.ac.jp

※予約制ですのでお電話かメールでご連絡ください。

<学生相談室の場所>

2号館1階正面入り口に入って左奥にあります。詳しくは『大学生の心の理解と「育て上げ」への配慮—保護者のためのガイドブック—』（学生相談室発行）をご覧ください。

※ホームページもご覧ください。

http://www.otemon.ac.jp/campus/health/ad_info/index.html

食堂棟

食堂棟は、地下1階、地上3階からなる建物で、一步中に入るとそのゆったりとした空間に、心地よさを覚えます。学生数に応じた席数の確保はもちろんのこと、清々しい空気を感じることのできるテラス席、緑が目優しいベランダや、くつろぎのラウンジなど、勉学の合間にリラックスできる空間となっています。

また、各種パーティ・イベント等にも利用できるように視聴覚設備を備えるなど、多目的利用を可能としています。

さらに、1階フロアを午後6時まで開放していますので、大学構成員のコミュニケーションスペースとしての利用も可能になっています。

食堂棟各フロアの案内

1Fから3Fまでは吹き抜けになっていて、ゆとりの空間が広がっています。

Madre (マードレ)

B1 (356席) 定食・麺類・丼・カレーなどを提供。自動販売機コーナーがあります。
1F 焼きたてパンを販売するパン工房があります。

ごはんや追手門食堂

1F (416席) 和食を中心としたチョイスメニューや丼・麺類などのメニューを提供しています。
学内中庭に面したテラス席 (36席) があります。

リブレ

2F (437席) カフェテリア形式で一品料理アラカルト・パスタ・ラーメン中心のメニューを提供しています。
各種イベント等に利用できる視聴覚設備を設置したコンベンションルーム (96席) もあります。

SEATTLE'S BEST COFFEE

3F (147席) コーヒーを中心とした各種ドリンクメニューのほか軽食を提供。ドリンク類については、通常店舗より割引価格にて提供しています。

食堂棟については、夏期・冬期・春期休業中や入学試験期間中など営業日、営業時間に変更が生じる場合は、事前に学生課掲示板にてお知らせします。

そのほか食堂に関する要望等があれば、気軽に学生課までお寄せください。



購買サービスについて

■紀伊国屋書店追手門学院大学ブックセンター

学生会館1階にある紀伊国屋書店ブックセンターは、昨年12月にオープンしました。教科書、専門書、資格・就職本その他、話題の新刊書、文庫、雑誌、コミック等も揃え、定価の5%引きで販売しています。店頭が無い本は、取り寄せる事も出来ます。また文房具も定価の10%引きで販売しており、各種資格講座の申込み受付・斡旋も行っています。探している本や、わからない事があれば、いつでも気軽に店舗スタッフへ声を掛けてください。

営業時間

平日授業日	9:00～18:00
土曜日授業日	原則として休業
授業日以外の月～金曜日	9:00～15:30

休業日

土曜・日曜・祝日他、大学休業日

※開店時間に変更がある場合は、店頭に掲示されます。UNIVERSAL PASSPORTでも確認できます。

■ファミリーマート追手門学院大学店

ファミリーマートの場所は、学生会館1階です。食料品・雑誌・日用雑貨・ドリンク類など豊富な品揃えで、平日授業のある日は2,000人の学生が訪れるというもうなずけます。コピーサービスや、チケット予約等最新のサービスはもちろんのこと、カップラーメン用のお湯サービスなど、配慮の行き届いた店舗づくりとなっています。親切なスタッフが笑顔で対応してくれます。開店時間が午前7時から午後10時45分と、課外活動後でも利用できるのがうれしいと評判です。

なお、休業日は年末年始・電気設備点検日(2日間)です。



夏期・冬期・春期休業中や入学試験期間中など、営業日、営業時間に変更が生じる場合は、事前に学生課掲示板にてお知らせします。

●株式会社オーティーエム

株式会社オーティーエムは学校法人 追手門学院が100%出資する事業会社です。事業内容はキャンパス整備などの学院施設環境事業、学院事務業務の受託事業、保険代理店業務、物品販売事業、学生サービス事業と多岐に渡ります。

学生の皆さんには様々な企業様と提携し、下宿・マンション、スーツ・レンタル振袖、自動車教習所、携帯電話、レジャー商品などを対象に追手門学院大学の学生向け割引特典を提供しています。学生会館前のゼブラスクエアには弊社のPRラックを設置して、割引特典の告知を行っています。



電話：072-641-7700

(平日9:00～17:00、大学休業日を除く)

URL：<http://www.otm-otemon.jp/>

各課業務案内

Contact Information

大学での学生生活は、高校生活と教育内容はもちろん、意識の面でも大きく変化します。この中で、保護者の皆様におかれましても、何かとご不明な点があるかと思えます。大学では、このような質問に応じるため相談窓口を設けていますので、いつでも遠慮なく相談してください。来学される場合には、あらかじめその担当課に電話連絡をお願いいたします。

相談内容	担当窓口	摘要	電話番号
学業修学について	教務課	履修状況、成績などについては、来学されて気軽に相談してください。	経済学部 072-641-9616
1週間以上欠席するとき		欠席届（教務課備付）を提出してください。病気の場合は、医師の診断書を添付してください。[注意 試験期間中の欠席については、教務課に相談してください。]	経営学部 072-641-9617 地域創造学部 072-641-9537
休学・復学・退学・再入学について		指定の用紙（教務課備付）に保証人連署のうえ、願い出てください。病気の場合は、医師の診断書を添付してください。（ただし退学の場合は不要です。）	社会学部 072-641-9153
転学・転学部・転学科について		募集の有無、条件等について教務課へご相談ください。	心理学部 072-641-9618
学業成績証明書について		手続きの際には、学生証が必要です。	国際教養学部 072-641-9620
証明書が必要になった	証明書自動発行機	入学時に配布される『STUDY GUIDE』をよく読み、分からないことは教務課窓口で相談してください。	072-641-9614
資格取得	教務課	資格課程（教職、博物館学芸員、社会教育主事、レクレーション・インストラクター）に関すること	資格サポートコーナー 072-641-9505
インターンシップに関すること	就職・キャリア支援課	資格課程以外の資格（簿記検定、TOEIC等）に関すること…資格サポートコーナーへご相談ください。	072-641-9155
就職・進路支援に関すること		学年を問わず対応していますので、気軽に相談に来てください。	072-641-9632
キャリア教育に関すること			
英語、数学、国語などの勉強について	キャリア・アクション・コモンズ	高校での教員資格がある職員がサポートします。学習相談や講座があります。詳しくは窓口で問い合わせてください。	
交換留学制度について	国際交流教育センター	本学と協定を結んでいる海外の大学へ学生を派遣し、また相手校から留学生を受け入れる制度です。	072-641-9631
海外セミナーについて		英語の語学研修、社会制度や文化を学ぶ海外セミナーをアジアやオーストラリア・欧米の大学で、春期・夏期の長期休暇中に実施します。	
私費外国人留学生への支援について		授業料減免制度、奨学金制度などを設けています。	

相談内容	担当窓口	摘要	電話番号
教員採用試験に関すること	教職支援センター	教職に関する豊富な知識や現場経験をもった担当教員が丁寧に対応します。	072-641-9187
住所（電話番号）が変更になったとき	学生課	大学からの連絡に支障をきたしますので、お子さまに学内情報システム UNIVERSAL PASSPORT で変更届をするようお伝えください。	072-641-9627 072-641-9629
身分上の変更（家族の死亡等）などが生じたとき		改姓・改名、国籍の変更等身分上の変更は学生課窓口へ届け出るようにしてください。	
学生証を紛失したとき	学生課	最寄の警察署に直ちに届け出て、学生課にて再発行手続きをしてください。（再発行手数料 3,000 円）	072-641-9627 072-641-9629
学内での盗難について		直ちに届け出を出してください。ただし、拾得物として学生課に届けられている場合もあります。	
学内での拾得物・落し物について		速やかに届け出てください。学生課に届けられている場合もありますので、窓口へ問い合わせることも忘れないでください。	
自動車通学について		1・2年生の自動車通学は、一切認めていません。3年生以上に関しても許可制となっています。	
奨学金について		詳細はお手元の「奨学金情報」冊子にて確認してください。	
賃貸住宅の紹介		窓口へ申し出て、申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、申し込んでください。	
アルバイトの紹介	追手門学院大学アルバイト紹介システムを利用してください。 http://www.aines.net/otemon 近隣自治体からのアルバイト求人等一部学生課に掲載しています。	072-641-9630	
ボランティア活動について	窓口で問い合わせてください。		
健康相談について	保健室	通学途中や学内でケガをしたり、身体に異常を感じた時には応急処置および保健指導を行い、場合によっては適切な病院を紹介します。病気やけがに限らず、栄養、生活習慣などのアドバイス、修学や学生生活に不安がある人の相談に応じます。相談の際には、プライバシーに配慮し、個室での対応も行っています。	072-641-9630
学生生活の相談について	学生相談室	さまざまな悩みや個人的問題について専門のカウンセラーが相談に応じます。 ※詳しくは、『大学生の心の理解と「育て上げ」への配慮』をご覧ください。	072-641-9628

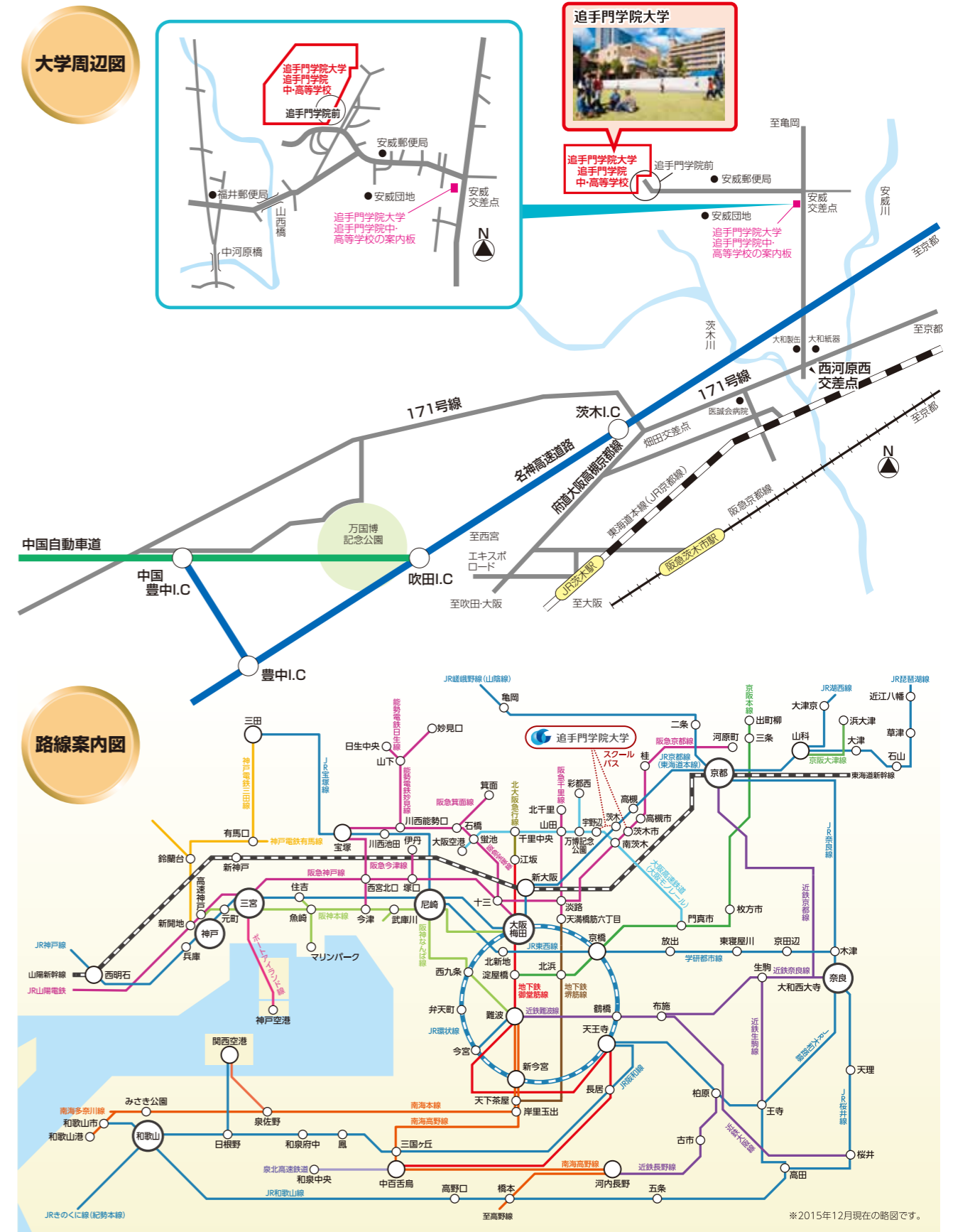
各課業務案内

Contact Information

相談内容	担当窓口	摘要	電話番号
教育後援会・卒業生保護者の会について		随時、問い合わせてください。	072-641-9669
校友会について	総務課	同窓会組織です。詳細については随時、問い合わせてください。	072-643-6135
ご家族にご不幸があった場合		連絡してください。規程により関係方面へお知らせし、弔慰の手配をします。	072-641-9608
学費(授業料等)について	財務課	随時、問い合わせてください。	072-641-9611
図書・雑誌・新聞等の閲覧	図書館	図書館内で自由に閲覧できます。	072-641-9638
ビデオ・DVD・CD等の視聴		図書館所蔵資料を視聴できます。	
図書・雑誌等の貸出		学生証があれば手続きができます。	
レポート・卒論の資料の収集		直接カウンターでおたずねください。	

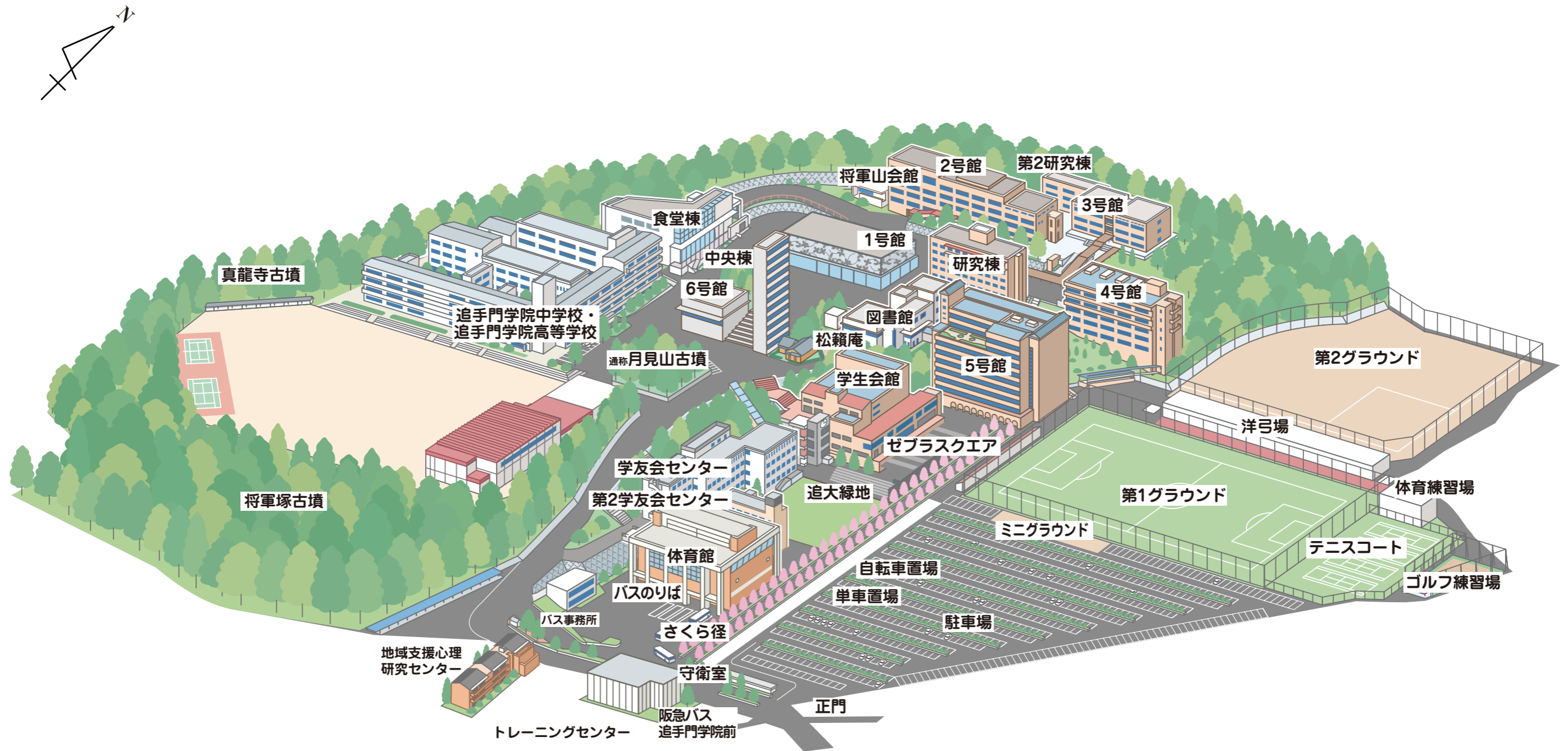
アクセスマップ

Access map



キャンパスマップ

Campus map



CAMPUS GUIDE

CAMPUS GUIDE

保護者のための キャンパスガイド

2017年4月1日発行

発行 追手門学院大学教育後援会
〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
追手門学院大学教育後援会事務局
TEL (072)641-9669 (担当:総務課)
FAX (072)643-9414
<http://www.ogu-kyoikukoen.com>

※掲載されている内容は2016年12月現在のものです。

©追手門学院大学教育後援会

